

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年3月27日  
九州運輸局

評価対象事業名：地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(白糸線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発を行うとともに、バス利用者からの要望を踏まえたダイヤの見直しを行った。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を定期的に開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	評価の指標は、路線別の収支率。 バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」の開催や、バス利用者の意見を反映しJRとの乗継ぎを考慮したダイヤ改正をするなど利用促進に取り組まれていることを評価します。目標設定については、人件費、燃料費の高騰等内側の要因を踏まえた目標設定をご検討ください。 今後も他地区においても「バス利用促進協議会」設置をするなど、行政・交通事業者・地域が一体となった利用促進や改善策の検討を行うことにより持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(雷山線)	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を定期的に開催し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	バス利用者の意見を反映し、JRとの乗継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど、利便性の向上に努めた。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	バス利用者の意見を反映し、JRとの乗継ぎを考慮したダイヤ改正を行うなど、利便性の向上に努めた。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(井原山線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(川原線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	C	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(前原今宿線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	B	沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(九大線波多江経由)	九州大学伊都キャンパスへの統合移転完了に向けた輸送力の強化を行うことにより利用者増につながった。	A	A	九大の統合移転が完了したため、増便や車両の大型化による輸送力の強化を行い、収支改善を目指す。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(九大線泊・油比経由)	九州大学伊都キャンパスへの統合移転完了に向けた輸送力の強化を行うことにより利用者増につながった。	A	B	九大の統合移転が完了したため、増便や車両の大型化による輸送力の強化を行い、収支改善を目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(初深江線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	バス路線を維持していくための「バス利用促進協議会」を設置し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。		
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(市街地循環線)	広報等を利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	B	JR筑肥線の新駅「糸島高校前駅」の開業に伴いバス路線を変更し、新駅に乗り入れることにより利便性の向上を図る。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由 ～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B	路線毎に沿線コミュニティ組織と事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。	<p>評価の指標は、路線毎の利用者数。利用者へアンケート調査を行うなど利用者ニーズの把握に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(あいのりタクシー福城線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。</p>	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹 経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	-	・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。 地域の実情に合わせた取組を強化する。(平成27年度からの実施事業である出前講座等)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹 経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	-	・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・車から公共交通への利用を促す取り組み(モビリティマネジメント)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市 街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B	・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編 ・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等) ・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を設ける。		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地 区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	A			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー 杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地 域中心部、杷木地 区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地 区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー 上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー 美奈宜の杜線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の杜地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また利用者の種別、ニーズを把握する為にアンケート調査を行った。	A	B			
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線 黒崎団地系統 西鉄バス大牟田営業所～黒崎団地	事業評価結果を踏まえ、生活交通確保維持改善計画内に掲げている「目標を達成するために「行う事業」を指数に含め、具体的な評価を行うようにした。 【目標を達成するために「行う事業」】 [1]高齢者の乗降時間や鉄道への接続に考慮したダイヤの見直しの実施 [2]時刻表のポスティング [3]バス路線沿線のイベント情報を毎月バスに掲示し、バスを利用してイベントに赴いていただくようなPR活動の実施	A	B		評価の指標は収支率。公共交通マップの作成、モビリティマネジメントの実施等、利用促進に取り組まれていることを評価します。	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線 黒崎団地系統 大牟田駅～黒崎団地	[4]高齢者イベントでのランドパス65の案内チラシ配布など、イベントへの参加によるバス路線PR活動の実施 [5]商業施設などでの時刻表やチラシの配布 [6]バスを身近に感じてもらう取組みの一環として、小学校でのバスの乗り方教室や商業施設等でのこどもを対象としたバスの乗り方教室の実施	A	B	目標達成に向け、各系統の利用者の属性(高齢者、学生など)の把握を行い、それらの特性を踏まえた効果的な利用促進の実施、運行の効率化を行い、各系統の収支改善に努める。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(米の山・黒崎団地線、黒崎団地系統新栄町～黒崎団地)についても成功例として同様に分析されることに期待します。今後とも利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線 黒崎団地系統 新栄町～黒崎団地	[7]利用促進に向けた活動実施や情報提供の充実 [公共交通マップ作成、モビリティマネジメントの実施、乗り方教室や出前講座の開催、周辺市町と連携した公共交通利用促進、バスに親し	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和みなみ線	大和みなみ地域の運行	・運行開始より徐々に利用者は増加傾向にあったが、年度後半は横ばいに転じたため、前回と同じ目標値とした。 ・平成30年10月からの再編に向け、9月に総合時刻表を全世帯に配布した。併せて広報紙にも再編内容を掲載し、周知や利用促進を行った。	A	A	利用者が減少している状況。マイカー普及などの原因も考えられるため、平成30年10月の再編後の状況を踏まえ、利用者数の分析、改善を行う。また市内の公共交通が必要な方に対しても利用促進を行う。	評価の指標は、便当たりの利用人員数。前年より利用者が減少した系統が2系統あるものの、3系統中2系統目標達成したことを評価します。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和きた線	大和きた地域の運行	・運行開始より徐々に利用者は増加傾向であり昨年度は目標を達成したため、今年度はワンランク高い目標を設定した。 ・平成30年10月からの再編に向け、9月に総合時刻表を全世帯に配布した。併せて広報紙にも再編内容を掲載し、周知や利用促進を行った。	A	B	利用者が減少している状況。マイカー普及などの原因も考えられるため、平成30年10月の再編後の状況を踏まえ、利用者数の分析、改善を行う。また市内の公共交通が必要な方に対しても利用促進を行う。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(大和みなみ線、三橋線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 平成30年10月の再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 三橋線	三橋地域の運行	利用者は横ばいのため、前回と同じ目標値とした。 ・平成30年10月からの再編に向け、9月に総合時刻表を全世帯に配布した。併せて広報紙にも再編内容を掲載し、周知や利用促進を行った。	A	A	利用者が増加傾向にあるため、平成30年10月の再編以降、利用促進やニーズに合った改善を行う。また市内の公共交通が必要な方に対しても利用促進を行う。		
久山町地域公共交通活性化協議会	協和タクシー(株) (※H29年11月～2台体制) ＜山田先回り＞ レスポアール～(山田循環)～レスポアール～(久原循環)～レスポアール～(久原循環)～レスポアール～(山田循環)～レスポアール	＜山田先回り＞ レスポアール～上山田南～猪野～草場～大谷～下山田～古賀橋トリアス前～上山田南～役場～下久原～東久原～上久原～レスポアールの運行 ＜久原先回り＞ レスポアール～上久原～東久原～役場～下久原～レスポアール～(久原循環)～レスポアール～(山田循環)～古賀橋トリアス前～下山田～大谷～草場～猪野～上山田南～レスポアールの運行	イコバスの利用状況については、平日は増加しているが、土日祝は利用が微減傾向にある。そのため、逆回り便の運行に取り組むこととした。また、満足度については、高い数字をいただいているので、引き続きその状態を維持できるように努める。	A	B	・イコバスについては、H29年11月～2台体制に移したことにより、利用も増加しているため、今後も引き続き利用促進のPRを図る。 ・H31年4月～、西鉄バスがトリアス止めとなり、代替をイコバスが運行する予定であり、周知が必要。 ・西鉄27B・70番系統、JR九州バス・JRとイコバスの一体的な町内交通体系の整備を継続的に行う。	評価の指標は、乗降客数と利用者満足度。乗降客数が目標達成していることを評価します。目標が達成できなかった利用者満足度については利用者ニーズを把握することにより、改善されることを期待します。事業の今後の改善点に記載している西鉄、JR九州バス、JRとイコバスとの一体的な町内交通体系の整備を継続的に行うことにより、広域的な公共交通ネットワークが構築されることを期待します。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	倉敷線(古門栄町～くらじの郷～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った 平成30年4月に改正されたJR鞍手駅の電車のダイヤと接続しやすいダイヤに改正した。	A	B	平成30年度に策定する公共交通網形成計画に基づき、現状の公共交通の課題を整理し、それらに対応した利用者にとってより効率的で利便性のよい公共交通体系への総合的な見直しを図っていききたい。		
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	泉水線(グローバルアリーナ～くらじの郷～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った 平成30年4月に改正されたJR鞍手駅の電車のダイヤと接続しやすいダイヤに改正した。	A	B	平成30年度に策定する公共交通網形成計画に基づき、現状の公共交通の課題を整理し、それらに対応した利用者にとってより効率的で利便性のよい公共交通体系への総合的な見直しを図っていききたい。	評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 JRのダイヤ改正に伴う接続ダイヤの改正、町内全世帯、医療機関・金融機関等にバスガイドを配布し利便性向上、利用促進に取り組まれていることを評価します。	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線(長谷観音～鞍手駅)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った	A	C	平成30年度に策定する公共交通網形成計画に基づき、現状の公共交通の課題を整理し、それらに対応した利用者にとってより効率的で利便性のよい公共交通体系への総合的な見直しを図っていききたい。また、新規の利用者を取り込むため、事業をより一層周知するとともに、乗合率を高めていく手法を検討する。	全体的に減少している利用者の要因を分析されるとともに、今年度に策定する地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上木月線(古門～くらの郷)	利用促進を図るためにバスガイドの配布などを行った。	A	B	平成30年度に策定する公共交通網形成計画に基づき、現状の公共交通の課題を整理し、それらに対応した利用者にとってより効率的で利便性のよい公共交通体系への総合的な見直しを図っていきたい。また、乗合率を高めていく手法を検討する。		
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	通勤かわせみ	利用者からの要望・意見等を考慮しつつ、かわせみバスと博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、平成30年3月17日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、平成30年4月1日にかわせみバスダイヤを改正した。	A	A	かわせみバスと博多南線のダイヤの接続強化により平成30年4月1日のかわせみバスダイヤ改正後も利用者数は増加傾向であり、通勤かわせみは目標を達成することができた。しかしながら、他の路線は目標を達成できていない状況であり、また路線が分りにくいことや、重複した路線があることで効率的な運行ができていない等の改善点がある。今後、平成32年度に実施予定の路線見直しに向け、分科会及び協議会委員とともに効果的・効率的な運行体系構築にむけ協議を進めていく。	評価の指標は、採算性と利用者数。利用者ニーズを考慮し、JR博多南線のダイヤ改正にあわせて、かわせみバスのダイヤを改正し、通勤かわせみの目標を達成していることを評価します。目標を達成できなかった系統の要因を分析するとともに協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ西畑線		A	C			
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ埋金線		A	C			
那珂川市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南畑線		A	C			
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローデイ柏の森店への運行	住民への周知活動(利用ガイド全戸配布・広報誌への掲載のほか福祉イベントへの参加等)を行うことで、住民に対する周知については一定の効果は出ている。利用者を含めた住民からの要望等についてはアンケート調査や街頭での聞き取り調査を行い、また、地域でのまちづくり協議会や各種団体等からの意見等を反映し、運行改善を行っている。	A	B	①平成31年度版の利用ガイドを、高齢者等の利用者にわかりやすいように作成し、市民の理解、周知に努める。 ②自治会単位の小規模説明会等の開催を重ねることで、市民の理解を得られ、登録者が増加してきた経緯があり、今年度の追加登録者数は昨年度よりも5.8%増加することができた。今後も引き続き、地元説明会、福祉イベント等へ参加し、市民への周知活動の強化に取組み、利用促進を図る。 ③民間事業者への影響に配慮しながら利用者の利便性向上のため、市民要望を反映して、各デマンド運行地区外の近接地に立地している施設への運行等を検討する。 ④第2次飯塚市地域公共交通網形成計画に基づくコミュニティ交通の利用促進策を進める。	評価の指標は、輸送人員数。平成30年度よりコミュニティバス、街中循環バスの路線再編を行い、全路線市役所への乗り入れ、バス停を新設するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。第2次飯塚市地域公共交通網形成計画に基づく利用促進策を進めるなど協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上三緒店への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光鎮西地区(八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス花瀬店への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・JR桂川駅への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	穂波タクシー(株)穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	安全タクシー(有)頼田・鯉田地区	頼田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株)鎮西地区(主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス飯塚花瀬店への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株)二瀬地区	二瀬地区内及びせき損センター・イオン穂波店への運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
飯塚市地域公共交通協議会	(有)幸袋タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR 鯉田駅・川食鯉田 店・ハローデイ九工 大前店・鯉田病院 への運行						
川崎町地域公共交通協議会	川崎町	安宅コースの運行	町内開催のイベントの際の利用促進活動、住民からの要望によるバス停の増設、時刻表の作成等を行った。	A	B	今後もさらに利用促進や、より良い利用環境づくりを行う。	評価の指標は、年間利用者数。町内イベントにおける利用促進活動、住民要望によるバス停の増設、時刻表の作成等、利用促進に取り組まれていることを評価します。 全系統の年間利用者数が目標を達成できなかったため、自己評価はBとなっているが、系統毎では、上真崎・永井コースが目標を達成している。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(上真崎・永井コースの運行)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き地域公共交通協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
川崎町地域公共交通協議会	川崎町	木城・荒平コースの運行	町内開催のイベントの際の利用促進活動、住民からの要望によるバス停の増設、時刻表の作成等を行った。	A	B	今後もさらに利用促進や、より良い利用環境づくりを行う。		
川崎町地域公共交通協議会	川崎町	上真崎・永井コースの運行	町内開催のイベントの際の利用促進活動、住民からの要望によるバス停の増設、時刻表の作成等を行った。	A	B	今後もさらに利用促進や、より良い利用環境づくりを行う。		
川崎町地域公共交通協議会	川崎町	池尻・田原コースの運行	町内開催のイベントの際の利用促進活動、住民からの要望によるバス停の増設、時刻表の作成等を行った。	A	B	今後もさらに利用促進や、より良い利用環境づくりを行う。		
川崎町地域公共交通協議会	川崎町	三井・大峰コースの運行	町内開催のイベントの際の利用促進活動、住民からの要望によるバス停の増設、時刻表の作成等を行った。	A	B	今後もさらに利用促進や、より良い利用環境づくりを行う。		
岡垣町地域公共交通協議会	西鉄バス宗像株	[2路線11系統運行] 糠塚・元松原循環線 [6系統(内、共同運行2系統)] 戸切循環線 [6系統(内、共同運行3系統)]	【利便性の向上】 ①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定 ②時刻表に、具体的利用例や、書き込み可能なマイ時刻表を掲載。	A	C	平成30年10月1日より事業者が嶺西部遠賀交通へ変更。	評価の指標は、網形成計画の策定時点である平成27年度の輸送人員数。 海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定、書き込み可能な時刻表の作成等、利便性の向上、利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 29年度より、利用者が減少傾向であることから、要因を分析するとともに、利用者ニーズの把握に努め、第3次公共交通体系整備計画(地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
岡垣町地域公共交通協議会	嶺西部遠賀交通	[4路線16系統運行] 高陽田地循環線 [6系統] 上畑・上高倉循環線 [2系統] 糠塚・元松原循環線 [4系統(内、共同運行2系統)] 戸切循環線 [4系統(内、共同運行3系統)]	【利用促進】 ①ギャラリーバスの実施 ②町内小学6年生を対象にバスノベルティ(メモ帳)を配布 ③時刻表に公共交通の経済的メリットを掲載	A	C	地域公共交通網形成計画を基に、更なる利便性の向上、利用者の増加、運行経費の軽減につながるよう、 ①まちづくりや教育、福祉政策と連携した公共交通網の維持、構築 ②運行形態や運行水準の適正化 ③新たな公共交通利用者の確保に向けた利用促進 以上3つを基本方針とし、取り組んでいく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況		
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	全5路線のうち、2路線(佐谷～上須恵線、乙植木～須恵線)を交通不便地域の指定を受け確保維持事業を申請	乗降者数前年度100%を確保する ・平成29年10月、ルート及びダイヤ改正 →【新規小売店・病院までのルート確保】 ・大学と連携した利用調査実施 →【新ダイヤ運行後の調査】 ・住民の利用促進に向けた情報発信 →【継続的なPR活動(広報紙・HP)】	A	A	・小学校区に合わせた路線変更検討(32年度実施予定) ・大学連携によるニーズ調査(継続実施) ・大学連携によるコミュニティバス運行位置リアルタイム表示システム導入	評価の指標は乗降者数。平成29年10月より、ルート、ダイヤ改正など、利便性向上に取り組みられたことにより乗降者数が増加していることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものに ついても成功例として同様に分析されることに期待します。今後も大学と連携した利用者のニーズ調査を行うことにより、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 八女エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 迎春エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 白木エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 迎春エリア(堀川系統)	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	評価の指標は、月あたりの利用人員数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(八女エリア、白木エリア、迎春エリア)についても成功例として同様に分析されることに期待します。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに、平成30年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 矢部エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 上陽エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	B	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) (有)川島タクシーくろぎ交通 (有)八女観光バス 旧黒木町エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	星野タクシー(有) 星野エリア	利用状況は近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	C	幹線路線バスとの乗り継ぎ利便性を向上することで利用者の増、維持を図る。あわせて、地域行事(サロン、老人クラブ等)で利用説明会を実施し、利用促進に取り組む。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線A系統 坂谷～田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者獲得のため、鉄道・バスとのスムーズな接続を考慮したダイヤ編成。チラシ、広報紙による周知など利用促進。時刻表の配布。	<p>評価の指標は収支率。鉄道との乗り継ぎを考慮したダイヤ設定を行い、利便性向上に取り組まれていることを評価します。</p> <p>自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(坂谷・田川病院線A系統、大浦・弓削田線A系統、大浦・弓削田線B系統、大浦・弓削田線C系統)についても成功例として同様に分析されることに期待します。</p> <p>引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように鉄道・バスとの接続強化。市民ニーズに沿った運行内容の見直し。新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	現在定着しているバス利用の利用離れを防ぐため、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	現在定着しているバス利用の利用離れを防ぐため、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	現在定着しているバス利用の利用離れを防ぐため、鉄道・バスとの接続強化等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線A系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	収支率の改善に向け、運行系統・ダイヤの見直し等を行う。運行しているバスの周知や利用定着に向けチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線B系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	収支率の改善に向け、運行系統・ダイヤの見直し等を行う。運行しているバスの周知や利用定着に向けチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	収支率の改善に向け、運行系統・ダイヤの見直し等を行う。運行しているバスの周知や利用定着に向けチラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	白鳥工業団地線A系統 後藤寺駅前～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	利用者の増加のため、乗りこみ調査等によるニーズの把握。ニーズに合わせたダイヤ等の運行内容の見直し。チラシ、広報紙等による利用促進。時刻表の配布。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町田園・松の本快速線	遠賀川駅～松の本～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集を行うなど、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて841人の増となった。しかし、目標達成率は、年間利用者の目標数19,253人に対し、実績は16,994人となり、達成率は88.3%であった。	A	B	この路線では、通勤・通学目的の利用者が減少傾向にあると考えられる。そのため、①体験乗車の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町虫生津・浅木快速線	遠賀川駅～蓮角～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集を行うなど、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて375人の増となった。しかし、目標達成率は、年間利用者の目標数4,850人に対し、実績は4,734人となり、達成率は97.6%であった。なお、1運行あたりの輸送人員は、目標値3.0人以上に対し、実績は3.2人となり、目標を達成できた。	A	B	この路線では、通勤・通学目的の利用者が減少傾向にあると考えられる。そのため、①体験乗車の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町田園・松の本線	遠賀川駅～松の本～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集を行うなど、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて2,046人の増となった。また、年間利用者の目標数28,340人に対し、実績は30,665人となり、達成率は108.2%であった。	A	A	この路線では、買い物・通院目的の利用者が増加傾向にあると考えられる。利用者維持及び更なる増加のためにも、①体験乗車の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。	評価の指標は、年間利用者数。町の広報誌での広報活動、運転免許証を自主返納した高齢者へのコミュニティバスの回数券配布等、利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(田園・松の本線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。今後も平成29年8月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町虫生津・浅木線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集を行うなど、利用促進の取り組みを行ったが、利用者数は前年度に比べて775人の減となった。また、目標達成率も、年間利用者の目標数26,701人に対し、実績は24,114人となり、達成率は90.3%であった。	A	B	この路線では、遠賀川駅から遠賀高校までの利用者が減少している。高校のスクールバスが運行しているため、学生の大幅な利用促進は難しい状況であるが、①体験乗車の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 島津・尾崎線	遠賀川駅～尾崎～ 遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集を行うなど、利用促進の取り組みを行ったが、利用者数は前年度に比べて182人の減となった。 また、目標達成率は、年間利用者の目標数8,499人に対し、実績は8,316人となり、達成率は97.8%であった。	A	B	この路線では、遠賀川駅までの利用者が減少傾向にあると考えられる。 そのため、①体験乗車の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 老良・広渡線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅	遠賀町地域公共交通網形成計画の策定後、町の広報紙にバスの乗り方について特集を行うなど、利用促進の取り組みを行った結果、利用者数は前年度に比べて617人の増となった。 しかし、目標達成率は、年間利用者の目標数10,754人に対し、実績は10,565人となり、達成率は98.2%であった。	A	B	この路線では、通院目的の利用者が減少傾向にあると考えられる。 そのため、①体験乗車の実施②利用者アンケートの実施③バス停の新設、時刻表の見直しの検討など、遠賀町地域公共交通網形成計画に即した取り組みを計画的に実施していくことで、遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。		
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川駅線	平成30年3月1日の芦屋中央病院移転に伴い、新たな路線の運行を行った。	A	A	現行の年間利用者数の維持を図りながら、利用促進に努める。	評価の指標は、年間利用者数、JR、北九州市営バスとの乗り継ぎ時間の短縮、「駅ずばあと」、「Google マップ」等でネット検索ができるようにするなど、利便性向上に取り組まれていることを評価します。	
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川駅線	年間利用者数の維持を図りながら、平成30年3月1日の芦屋中央病院移転に伴い、路線及び時刻表の見直しを行った。	A	A	現行の年間利用者数の維持を図りながら、利用促進に努める。	今後とも利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車	町内全域の運行	年間利用者目標数14,500人に対し、利用者数13,488人で93.0%の達成率となった。	A	A	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	評価の指標は、年間利用者数、自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。	
広川町地域公共交通協議会	堀川バス(株)	町内全域の運行	年間利用者目標数14,500人に対し、利用者数13,488人で93.0%の達成率となった。	A	A	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上頓野線(直方駅～湯野原～竜王峡)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、地域に対して現状の利用状況を発信し、協議を行った。	A	A	平成30年9月に地域公共交通網形成計画を策定し、トリガー制度を導入した。住民・事業者・市が効率的なルート、バス停の設置について利用状況を参考にし、それぞれに責任をもって協議を行う。	評価の指標は、1運行平均の利用者数。 鴨生田団地線、植木線については、平成29年10月からスーパーを経由する路線に変更したことにより、大幅に利用者が増加しており、5系統中4系統が目標達成していることを評価します。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	武谷線(直方駅～溝掘～ゴルフ場)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、地域と協議を行い、バス停の新設を検討し、利便性の向上を図る予定である。	A	B	平成30年9月に地域公共交通網形成計画を策定し、トリガー制度を導入した。平成30年3月に沿線スーパーが閉店したことにより平成30年10月よりスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(上頓野線、鴨生田団地線、植木線、感田線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー株式会社	鴨生田団地線(直方駅～鴨生田団地線～サンリブのおがた店)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、平成29年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した。	A	A	平成30年9月に地域公共交通網形成計画を策定し、トリガー制度を導入した。住民・事業者・市が効率的なルート、バス停の設置について利用状況を参考にし、それぞれに責任をもって協議を行う。	今後とも平成30年9月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー株式会社 直方タクシー有限公司 有限会社キングタクシー	植木線(直方駅～サンリブのおがた店～下町公民館)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、平成29年10月にスーパーを経由するルートへ路線の変更を実施した。	A	A	平成30年9月に地域公共交通網形成計画を策定し、トリガー制度を導入した。住民・事業者・市が効率的なルート、バス停の設置について利用状況を参考にし、それぞれに責任をもって協議を行う。		
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社 株式会社日の丸タクシー	感田線(直方駅～東和苑北～湯野原)の運行	市のホームページ及び窓口にて時刻表及び路線図を配架し、周知を行った。また、地域に対して現状の利用状況を発信し、協議を行った。	A	A	平成30年9月に地域公共交通網形成計画を策定し、トリガー制度を導入した。住民・事業者・市が効率的なルート、バス停の設置について利用状況を参考にし、それぞれに責任をもって協議を行う。		
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	北野地域よりみちバス運行 A日程(月・水・金) 20便 B日程(火・木・土) 18便	利用状況や地域からの意見を基に事業計画の変更を実施(H30年3月改正)。また、利用者がより気軽に外出できるようにH30.8より定期券を販売。	A	B	ダイヤ改正後の日利用者は28.3人と増加傾向にある。今後は地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤの改善、幹線系統(路線バス)との連携を高める見直しを進める。また幹線系統の地域時刻表の配布等も併せて実施する。	評価の指標は、①一日当たりの利用者数、②幹線バスの利用者数、③利用満足度。利用者、地域住民の意見・要望を踏まえてH30.4より運行ルート等を見直し、H30.8より新たに定期券を販売するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。	
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	城島地域よりみちバス運行 A日程(月・水・土) 18便 B日程(火・木・金) 19便	利用状況や地域からの意見を基に事業計画の変更を実施(H30年3月改正)。また、利用者がより気軽に外出できるようにH30.8より定期券を販売。	A	B	ダイヤ改正後の日利用者は20.1人と増加傾向にある。今後は地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤの改善を行うと共に、イベントに合わせた臨時運行等で運行のアピールを行う。また幹線系統の地域時刻表の配布等も併せて実施する。	評価の指標は、①一日当たりの利用者数、②幹線バスの利用者数、③利用満足度。利用者、地域住民の意見・要望を踏まえてH30.4より運行ルート等を見直し、H30.8より新たに定期券を販売するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社 産業タクシー株式会社	太賀・朝霧系統	アンケート調査の結果を基に座談会を開催し、住民ニーズの把握に努め、効率的な運行となるよう計画の見直しに取り組んだ。また、平成29年10月に、商業施設敷地内に停留所を新設した。	A	B	運行開始から3年が経過していることから、ダイヤ改正やルート改正などの運行方法の見直しを検討する。	評価の指標は、利用者数及び収支率。平成29年度に実施したアンケート調査の結果に基づき、住民座談会を実施するなど住民ニーズの把握に努められていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。	
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	アンケート調査の結果を基に座談会を開催し、住民ニーズの把握に努め、効率的な運行となるよう計画の見直しに取り組んだ。また、平成29年10月に、商業施設敷地内に停留所を新設した。	A	B	運行開始から3年が経過していることから、ダイヤ改正やルート改正などの運行方法の見直しを検討する。	評価の指標は、利用者数及び収支率。平成29年度に実施したアンケート調査の結果に基づき、住民座談会を実施するなど住民ニーズの把握に努められていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。	
中間市地域公共交通会議	有限会社ことぶきタクシー	垣生・下大隈系統	底井野校区全世帯を対象にアンケート調査を実施し、効率的な運送サービスが提供できるように住民ニーズの把握を行った。また、平成29年10月に、商業施設敷地内に停留所を新設した。	A	C	アンケート調査の結果を基に座談会を開催し、住民ニーズの把握に努め、効率的な運行となるよう計画の見直しに取り組む。	目標を達成できなかった系統の要因を分析するとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社	砂山・底井野系統	底井野校区全世帯を対象にアンケート調査を実施し、効率的な運送サービスが提供できるように住民ニーズの把握を行った。また、平成29年10月に、商業施設敷地内に停留所を新設した。	A	C	アンケート調査の結果を基に座談会を開催し、住民ニーズの把握に努め、効率的な運行となるよう計画の見直しに取り組む。	目標を達成できなかった系統の要因を分析するとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市水上・本郷線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	A	現在の利用状況を維持できるように引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組む利用促進に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の清水～水上～本郷～上庄地域を運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	旧福祉バスと利用者数はあまり変わらないが、毎日運行となり便数が増えたため、便あたりの利用者が目標より少なかった。福祉バスのイメージが強く高齢者以外の利用が伸びなかったと考えられる。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。なお、水上・本郷線に引き続き同じ車両が、運行しており、水上・上庄線で乗車して、清水・上庄線での降車が多い。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由①)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	福祉バスのイメージが強く高齢者以外の利用が伸びなかった。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由②)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	福祉バスのイメージが強く高齢者以外の利用が伸びなかった。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	旧福祉バスと比較すると利用者数は増えているが、福祉バスのイメージが強く高齢者以外の利用が伸びなかった。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を国道209号を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	旧福祉バスで隔日運行だった他の系統が毎日運行となったため、利用者が他の系統を利用するようになったと考えられる。沿線高齢者人口も多く、利便性の高い路線であるため、新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	新船小屋からJR瀬高駅間を運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	C	新船小屋からJR瀬高駅間の4.5kmを山川・瀬高線③の最速便への接続のため運行している。そのため、利用者は限られている。JR瀬高駅までの利用や山川町から老人ホーム楠寿園へ訪問される方の帰宅のための利用ニーズがある。	評価の指標は、1便当たりの乗車人数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(水上・本郷線、山川・瀬高線①、高田南部・西部線②)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標を達成できなかった系統の周知、利用者ニーズの把握を行うとともに引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	A	車で20分の距離を40分から60分以上かかる便もあるため、時間短縮のため利用状況の把握及び分析を行い利用しやすい運行を目指す。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線②	山川町の市役所山川支所～瀬高町の市立図書館を国道443号を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	C	夕方の帰宅者向けの運行をしており、定期的な利用者があるが、利用が限られている。運行範囲を絞り快速的な運行をしているが、山川・瀬高線①と停車するバス停が違うため分かりにくく利用し難い可能性がある。利用状況の把握及び分析を行い利用しやすい運行を目指す。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	C	JR瀬高駅からの山川方面への帰宅者向けの運行をしているが、利用者が少ない。山川・瀬高線②と同様に運行範囲を絞り快速的な運行をしているが、同様に山川・瀬高線①と停車するバス停が遠いため分かりにくく利用し難い可能性がある。利用状況の把握及び分析を行い利用しやすい運行を目指す。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線①	高田町の南部及び西部地域をあたご苑から市役所高田支所を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	僅かに目標に届かなかったが、利用が増えている。引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努め目標達成を目指す。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線②	高田町の南部及び西部地域をヨコクラ病院前から市役所高田支所を経由しJR渡瀬駅まで運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	A	現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	山川町～高田町を亀谷・竹飯地域を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	B	旧福祉バスと比較すると利用者数は増えているが、毎日運行となり便数が増えたため、便あたりの利用者数は目標より少なかった。沿線の高齢者人口は少ないが、H29年の調査で利用者の多くの利用頻度は、毎週利用となっており、ニーズがあるため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	山川町～高田町を田浦・田尻地域を経由して運行	平成30年3月1日より運行を開始したため本事業評価が初回となる。	A	C	沿線の高齢者人口が比較的少なくH29年の調査でも利用者の多くの利用頻度が低かった。旧福祉バスと利用者数はあまり変わらないが、毎日運行となり便数が増えたため、便あたりの利用者数が目標より少なかった。今後も利用状況の把握及び分析を行い利用しやすい運行を目指す。また、引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
宮若市地域公共交通会議	有限会社松川タクシー MGタクシー株式会社	宮田・小竹線	平成29年10月より運行開始	A	C	目標値を大きく下回ってはいないものの、利用者数・収支率は増加傾向にある。本路線周辺地域に対し、さらなる周知を行うことにより、新規利用者の増加を図る。	評価の指標は、年間利用者数。目標値を大きく下回っていることから、さらなる周知を行うとともに、今後の改善点による利用者ニーズの把握に努めることにより、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 弥生が丘循環線	鳥栖駅前～弥生が丘駅～鳥栖駅前	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	(株)鳥栖構内タクシー 鳥栖地区循環線	フレスポ鳥栖～鳥栖まちづくり推進センター南～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B	<p>評価の指標は、路線ごとの利用者数。バスマップの配布及びバスの日イベント開催など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(弥生が丘循環線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。今後は、地域公共交通網形成計画の策定に向けた取組が計画的に進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	(株)鳥栖構内タクシー 田代地区循環線	フレスポ鳥栖～くすり博物館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B		
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	久留米西鉄タクシー(株) 基里地区循環線	フレスポ鳥栖～永吉町公民館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	C		
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	久留米西鉄タクシー(株) 旭地区循環線	マックスバリュ鳥栖村田店～下野公民館～マックスバリュ鳥栖村田店	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	C		
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー(株) 春日線・大野原線	(春日線)大野～嬉野医療センター(大野原線)平重～体育館前	<p>乗合タクシー事業運行地区に出向き、沿線住民の認知度合いを図ると同時に、意見聴取や利用促進に向けた啓発を行った。また、路線系統毎に実際に乗車し利用者実態アンケート調査を行い、利用者のニーズ把握や運行状況の確認を行った。また、市広報誌やホームページに、時刻表等を掲載し、市民や観光客向けにPRを行った。</p> <p>しかし、「春日線」については利用者がH29比で164人減少し、「大野原線」については、H29比で11人減少した。今後も、地道な啓発活動等を行い理解を深め積極的な利用促進を図りたい。</p>	A	B		<p>(春日線) H29年度に引き続きH30年度も利用状況・収支状況ともに減少することとなった。しかしながら、H29年度と比較すると減少幅は改善している。要因としては、今年度より障がい者割引や高校生以下の割引を開始したことが減少を食い止めた要因の一つと考える。</p> <p>(大野原線) 春日線同様に、利用状況・収支状況とも前年度に引き続き減少した。しかし、春日線と同様の割引を始めたことにより、減少幅は改善された。今後も引き続き利用促進のための周知を図っていききたい。</p> <p>(全体) 沿線住民や地元の地域コミュニティに対し利用促進を図ると同時に、広報誌やホームページ等を通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。また、市内の大規模総合病院が新設移転されることに伴う路線再編を実施し、利用促進へ努めたい。</p>
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 晴田線 (小城市巡回バス)	小城市の晴田地区内における巡回バスの運行	(1)小城市巡回バスの老朽化に伴い、バスの更新を行った。	A	C		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 岩松線 (小城市巡回バス)	小城市の岩松地区内における巡回バスの運行	(2)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度の導入を行った。 (3)時刻表の配布及び出前講座等を行った。	A	A		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市三里線(小城市巡回バス)	小城市の三里地区内における巡回バスの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市北回りコース(三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城市の一部における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度の導入を行った。 (2)時刻表の配布及び出前講座等を行った。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市南回りコース(三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市勝・柿樋瀬線(牛津町巡回バス)	牛津町の勝・柿樋瀬地区における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度の導入を行った。	A	C	バス利用者への聞き取り調査を実施し、利用者の生の声を聴き、より利便性を高めていく。 また、今は利用していないが、将来的に利用するかもしれない潜在的な利用者の意見を拾い上げ(アンケートの実施等)を行い、現在利用していない人がなぜ利用していないかなども総合的に考え、地域のニーズに応じた最適な運行形態やコース、時間設定等を検討し、市民に愛されるバスを目指す。 なお、利用者が少ない路線(「南回りコース」三日月町巡回バス等)については、出前講座の実施や広報活動に取り組み、利用促進を図る。		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市砥川線(牛津町巡回バス)	牛津町の砥川地区における巡回バスの運行	(2)時刻表の配布及び出前講座等を行った。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市天満町・芦刈町線(牛津町巡回バス)	牛津町天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市広域線(広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度の導入を行った。 (2)時刻表の配布及び出前講座等を行った。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市タクシー(株)あしま〜る線(芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行	上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	A			
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市タクシー(株)やまびこ線(小城市やまびこタクシー)	小城市巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度の導入を行った。 (2)時刻表の配布等を行った。	A	C			

評価の指標は、1便あたりの利用者数。  
運転免許証自主返納者に対する巡回バス、乗合タクシーの運賃割引制度を導入するなど利用促進に取り組みされていることを評価します。  
自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(岩松線、広域線、あしま〜る線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。  
目標を達成できなかった系統の周知、利用者ニーズの把握を行うとともに引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 神埼コース	(1) 神埼コース 神埼駅を起終点とし協和町等を経由する 54.0km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	巡回バス全体の1運行当たりの利用者数は前回の2.6人から3.0人と増加したが、アンケートによる利用者満足度については71.3%から58.4%に低下している。アンケート結果については、回答者数が少ないなど、実施方法に改善すべき点があるため、今後は調査の手法の検討による利用者の正確な意見の把握に努め、利用したことがない方の意見や運行情報の周知等を図りながら利便性の向上に努める。	評価の指標は、1運行あたりの利用人数、アンケートによる利用満足度。
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 千代田コース	(1) 千代田コース 神埼駅を起終点とし仲田町バス停等を経由する 38.3km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	巡回バス全体の1運行当たりの利用者数は前回の2.6人から3.0人と増加したが、アンケートによる利用者満足度については71.3%から58.4%に低下している。アンケート結果については、回答者数が少ないなど、実施方法に改善すべき点があるため、今後は調査の手法の検討による利用者の正確な意見の把握に努め、利用したことがない方の意見や運行情報の周知等を図りながら利便性の向上に努める。	アンケートによる利用満足度が目標を達成していないためB評価となっているが、1運行あたりの利用人数が前年度より増加している。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(1運行あたりの利用人数)についても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
神崎市地域公共交通活性化協議会	1 補助対象事業者 (有)ジョイックス交通 2 運行系統 迎島～神埼駅	(1) 迎島～神埼駅 迎島～神埼駅を起終点とし詫田バス停等を経由する 20.4km	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	巡回バス全体の1運行当たりの利用者数は前回の2.6人から3.0人と増加したが、アンケートによる利用者満足度については71.3%から58.4%に低下している。アンケート結果については、回答者数が少ないなど、実施方法に改善すべき点があるため、今後は調査の手法の検討による利用者の正確な意見の把握に努め、利用したことがない方の意見や運行情報の周知等を図りながら利便性の向上に努める。	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株):市内循環バス	循環バスの運行	H29.10に網計画に基づき路線変更、ダイヤ改正を行い、市報や時刻表の発行などによる周知活動の強化に努め、また、乗継ぎや高齢者や免許返納者等に対する運賃割引などの利用促進の取組みを実施した。	A	A	現在の路線・時刻から更に利用が見込める路線・時刻への再編、高齢者等にも分かりやすい運賃設定、今後拡大予定の「予約型のりあいタクシー」との乗継をPRすることで、運行地域以外の方などの新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加(2.1人/便以上)を目標とする。	評価の指標は、1便あたりの利用者数。平成29年3月に策定した網形成計画に基づき平成29年10月より、市内循環バスの運行経路変更、運賃をワンコイン100円に変更、路線バスを廃止した地域を対象に新たに乗合タクシーの運行を開始するなど地域公共交通の再編、利用促進に取り組まれていることを評価します。
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー:高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	H29.10に網計画に基づき路線変更、ダイヤ改正、全線フリー降車を行い、市報や時刻表の発行などによる周知活動の強化に努め、また、乗継ぎや高齢者や免許返納者等に対する運賃割引などの利用促進の取組みを実施した。	A	A	現在行っている運賃割引制度やフリー降車などについて、路線沿線地域住民に対する広報を強化し、利便性が向上する「循環バス」の乗継をPRすることで、新たな利用者の発掘を行い、2.2人/便を目標とする。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(市内循環バス、高津原のりあいタクシー)についても成功例として同様に分析されることに期待します。今後も地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー:予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行	H29.10に網計画に基づき、路線バスを廃止した地域を対象に新たに運行を開始し、市報や時刻表の発行などによる周知活動の強化に努め、また、乗継ぎや高齢者や免許返納者等に対する運賃割引などの利用促進の取組みを実施した。	A	B	現在の予約利用可能な運行ダイヤについて、便数と運行曜日を増やし利便性を向上させ、登録者の利用を促すとともに、対象となる区域の新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、住民ニーズを勘案して目標稼働率20%を目標とする。	



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
鹿島市地域公共交通活性化協議会	(有)再耕庵タクシー: 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行	H29.10に網計画に基づき、路線バスを廃止した地域を対象に新たに運行を開始し、市報や時刻表の発行などによる周知活動の強化に努め、また、乗継ぎや高齢者や免許返納者等に対する運賃割引などの利用促進の取組みを実施した。	A	B	現在の予約利用可能な運行ダイヤについて、便数と運行曜日を増やし利便性を向上させ、登録者の利用を促すとともに、対象となる区域の新たな登録者を発掘するため区域拡大と周知活動の強化を行い、住民ニーズを勘案して目標稼働率20%を目標とする。	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	西鉄バス佐賀(株)	<p>〈みやき中央線〉 大島病院～斎藤整形外科の運行 〈三根東線〉 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行 〈中原線〉 大島病院～板部～香田～大島病院の循環運行 〈三根西線〉 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の運行 〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行</p>	路線図や時刻表を最新版に改訂し、全戸配布を行った。また、町内の施設等にも、置いてもらった。	A	B	<p>町の主要施設を結びみやき中央線では、利用者の伸びが大きい。その他の各路線については、若干利用者減がみられるため、運行データの精査等行う。</p> <p>また、現在コミュニティバスを運行して6年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、必要であれば再編等も視野に入れて、検討していく。</p>	<p>評価の指標は、1日の平均利用者数及び利用者満足度調査。路線図、時刻表を全戸配布するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。</p> <p>引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
伊万里市民と考える地域交通会議	伊万里市(西肥自動車(株)へ運行委託)	<p>●バス名 いまりんバス郊外線</p> <p>●系統名 ①牧島～立花線 ②脇田～古賀線 ③屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(コース)週2日、1日4回(循環)運行</p>	・平成29年4月より運転免許返納者を対象とした優遇措置を継続し、利用促進を図った。	A	B	<p>・平成30年度の実績を踏まえ、適切な目標値を設定するとともに、目標をクリアするよう利用促進に取り組む。</p> <p>・運行時刻やルートについて利用者アンケート等を実施する。</p>	<p>評価の指標は、1便あたりの利用者数。</p> <p>バスの乗り方教室の開催、各町区長会合時におけるバス利用の呼びかけを行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(波多津循環線A、B、C)についても成功例として同様に分析されることに期待します。</p> <p>今後も平成28年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>
伊万里市民と考える地域交通会議	波多津町まちづくり運営協議会	<p>波多津ふれあい号</p> <p>●系統名 波多津循環線A 波多津循環線B 波多津循環線C ※月～土、1日3回運行 波多津東小下校便 ※登校日、1日1回運行</p>	・利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	A	・運行時刻やルートについて利用者アンケート等を実施するなど更なる利用促進に取り組む。	
伊万里市民と考える地域交通会議	大川町コミュニティ運営協議会	<p>●バス名 コミュニティすこやかバス</p> <p>●系統名 大川循環線 ※月～金、1日4回運行</p>	・利用促進を図るため、区長等により、会合時バス利用の呼びかけ及び利便性向上に向けた意見募集を行った。	A	B	・区長会をはじめ、利用者のニーズを適切に把握するようアンケート調査等を行う。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通会議	有限会社 松原タクシー	大和町松梅地区におけるデマンドタクシーの運行	「べんりカー松梅号だより」の全戸配布を行うとともに、利用者アンケートを実施し、利用者のニーズ把握等に努めた。	A	A	利用者は軒並み順調に増加しているが、潜在的な利用者の確保に向けて、関係団体等と連携協力しながら、さらなる利用促進に努める。	評価の指標は、路線ごとの年間利用者数。 新高校1年生の保護者説明会でコミュニティバスの通学利用の説明、デマンドタクシー利用者へのアンケート調査を行うなど、利用促進、利用者ニーズの把握に取り組まれていることを評価します。	
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	富士町におけるコミュニティバスの運行 ※車両減価償却費補助金を活用して、平成29年1月に購入した車両(1台)を用いて運行	「コミュニティバスだより」に各種割引制度の紹介や幹線系統の路線バスで利用可能なICカード等を周知することで、広く住民へ利用を呼びかけた。	A	B	「コミュニティバスだより」を発行し、コミュニティバスの認知度向上を図りながら、各種団体や関係機関と協働し、よりよい利用促進に努める。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(大和町松梅地区におけるデマンドタクシー、三瀬地区におけるコミュニティバス)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
佐賀市地域公共交通会議	佐賀市	三瀬地区におけるコミュニティバスの運行	住民の利用促進を図るため、公民館と協働し、コミュニティバスを活用した講座の開催など、住民の利用する機会を創出した。	A	A	新高校1年生向けの保護者説明会において、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、「コミュニティバスだより」を発行することで、潜在的な利用者確保に向けた取り組みに努める。	引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	東多久立山線「東多久～立山」間の運行 (多久市自家用有償運送)	協議会協議結果に基づき、路線・ダイヤ改正を2回実施。2回目改正時には新規バス停を設置し、利便性向上を図った。	A	B	30年度終盤のルート変更内容の更なる周知により利用促進を図る。	評価の指標は、路線ごとの1日あたりの利用者数。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	西多久納所線「西多久～納所」間の運行 車両減価償却費等 国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	協議会協議結果に基づき、路線・ダイヤ改正を2回実施。2回目改正時には新規バス停を設置し、利便性向上を図った。	A	A	30年度終盤のルート変更内容の更なる周知により利用促進を図る。	協議会の協議において、路線・ダイヤ改正の実施、バス停を新たに設置するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	南多久岸川線「岸川～南多久」間の運行 車両減価償却費等 国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	協議会協議結果に基づき、路線・ダイヤ改正を2回実施。2回目改正時には新規バス停を設置し、利便性向上を図った。また、車両更新に合わせ、市のゆるキャララッピングを施、利用啓発、乗車定員拡大を実施。	A	A	30年度終盤のルート変更内容の更なる周知により利用促進を図る。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(西多久納所線、南多久岸川線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	昭和自動車株式会社	市内全域運行 【対象地区居住者ほか】 (多久ふれあいタクシー：デマンド型)	協議会協議結果に基づき、運行日拡大・乗降場所追加を実施。	A	B	30年度に「運行日拡大」を実施し、利用者は増加傾向にあるため、更なる周知により利用促進を図る。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	波戸岬 【呼び～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員削減により企業努力を継続して行っていく。	評価の指標は、路線ごとの収支率。 地域公共交通再編実施計画に基づき、平成28年8月より公共交通の再編を実施しており、今年度は総合時刻表を作成、ICカードを導入するなど利用促進、利便性向上に取り組まれていることを評価します。	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	加部島 【呼び～加部島杉村】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員削減により企業努力を継続して行っていく。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(波戸岬、加部島、市内南、成淵)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子台場【呼子～呼子台場みなとプラザ】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・名護屋浜(小友・名護屋浜)【呼子～小友・名護屋浜～呼子】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・名護屋浜(呼子台場・名護屋浜)【呼子～呼子台場・名護屋浜～呼子】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・名護屋浜(小友)【呼子～小友～呼子】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・加部島【呼子～加部島杉村～呼子】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	呼子・波戸岬【呼子～名護屋城址～波戸岬国民宿舎】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	星賀【入野～星賀】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。さらに、平成30年4月より肥前エリアの再編を実施予定であり、運行の効率化を図ること、収支率を改善させる。	A	C	H30.4.1予定の肥前町再編により、運行効率を上昇させ、収支率の改善を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	納所 【入野～納所】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。さらに、平成30年4月より肥前エリアの再編を実施予定であり、運行の効率化を図ることで、収支率を改善させる。	A	C	H30.4.1 予定の肥前町再編により、運行効率を向上させ、収支率の改善を図る。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	高串 【入野～古保志気～高串福祉センター前】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。さらに、平成30年4月より肥前エリアの再編を実施予定であり、運行の効率化を図ることで、収支率を改善させる。	A	C	H30.4.1 予定の肥前町再編により、運行効率を向上させ、収支率の改善を図る。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内東 【唐津駅～シーサイド前～唐津駅】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内西 【大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内南 【大手口～唐津赤十字病院前～唐津駅】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内南 (赤十字病院線) 【大手口～唐津駅・アルビノ～唐津赤十字病院】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	イオン 【大手口～用尺南～イオン前】	総合時刻表の作成やICカード二モカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカード二モカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人員費削減により企業努力を継続して行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大手口～大島液化ガス) 【大手口～まいづるCARROT店～大島液化ガス】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド) 【大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大島液化ガス～百人町～市民グラウンド) 【市民グラウンド～百人町～大島液化ガス】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(大島液化ガス～唐津東中高前) 【大島液化ガス～大手口～唐津東中高前】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	総合時刻表の作成やICカードニモカの導入、液晶運賃表示器の外国語対応、昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	C	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	B	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	成淵(市民病院きたはた～成淵) 【市民病院きたはた～成淵上】	総合時刻表の作成や昭和自動車のホームページの改良、また、省燃費活動による燃料費削減を図った。	A	A	純粋な利用人員の増への取組み(地元住民へのバス利用の呼びかけや沿線施設とのタイアップ企画検討、ICカードニモカの普及活動等)により収益増を図る。また費用面に関しても省燃費活動による燃料費の削減や本社部門の人件費削減により企業努力を継続して行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀株	基山駅～けやき台～高島団地～老人憩の家～基山駅系統	<p>【目標1 乗降客数】 1日の平均利用者数 90人以上</p> <p>平成29年度実績値1日平均89人。前年度利用者の増を目標とする。これに伴う財政負担割合の軽減を図る。</p> <p>【目標2 乗客の満足度】 下記の5つの項目で5段階評価での調査を行い、「良い」「やや良い」と回答が70%以上を目標とする。</p> <p>I. 運転士マナー II. 定刻運行 III. 運転技術 IV. 時刻表の見易さ V. 運行ルート</p>	A	B	<p>将来にわたって持続可能な地域公共交通にするため、安定した利用者の確保に向けた利用促進の取組みを継続する。</p>	<p>評価の指標は、コミュニティバス全体の1日平均乗降客数及び乗客満足度。 住民アンケートの実施、コミュニティバス利用促進マップの全戸配布など利用者ニーズの把握、利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀株	基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統						
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀株	基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～老人憩の家～基山駅系統						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金2便(宮浦～園部～中心部～本桜～長野～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金3便(宮浦～長野～中心部～本桜～園部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～園部～本桜～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土2便(長野～本桜～中心部～園部～宮浦～中心部)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土3便(長野～園部～中心部～本桜～宮浦)						
基山町地域公共交通活性化協議会	(有)基山タクシー	火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー(株)	有田町曲川・大山 地区における区域 運行 登録者住宅～有田 町役場等間を1日6 便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図った。 また、運行の効率化を図るために、これまで4つに分けていたコースを1つに統一した。	A	A	更なる制度定着のため、広報、周知に取り組み、利用促進を図る。 新規利用者の増加のために、運転免許の自主返納をされた方をデマンドタクシー利用者に移行してもらうよう取り組む。	評価の指標は、年間利用者数。コミュニティバスのダイヤ改正にあわせて、デマンドタクシーのダイヤ改正を実施するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	吉野ヶ里観光タクシー有限公司	系統名:循環線 運行区間:吉野ヶ里町全域 運行形態:事前登録制、予約制、乗合により、自宅と指定施設間を運行する、デマンド型乗合タクシー。8時台～16時台の1時間に1便(最大1日9便)、予約のあった場合のみ運行。 運行日:平日 運休日:土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)	【目標】 交通結節点(東日達原バス停)、JR吉野ヶ里公園駅及び広域路線バス停付近での乗降客数 平成30年度:7人/日以上 (平成28年9月から平成29年5月までの平均乗降客数6人/日の120%)	A	A	目標とする、乗降客数の前年度比20%増を達成し、順調に利用者数が増えている。今後も広報、周知に取り組み、利用者増を図る。	評価の指標は、交通結節点における乗降客数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	評価の指標は、収支率。 地域の自治会を通じて地域の意見・要望の収集等利用者ニーズの把握に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
長崎市地域公共交通会議	有限会社 琴海タクシー	琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	対馬交通株式会社	対馬病院～竹敷間路線バスの運行(竹敷線)	目標については、昨年度の項目と同様とした。	A	A	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	厳原タクシー有限公司 有限会社北厳原タクシー 対州タクシー有限公司 ホテル対馬株式会社	椎根～厳原間予約制乗合タクシーの運行(椎根・厳原線)	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す。		
対馬市地域公共交通活性化協議会	上県タクシー株式会社	比田勝～五根緒間予約制乗合タクシーの運行(比田勝・五根緒線)	目標については、昨年度目標達成とならなかったため前回の項目と同様とした。	A	C	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す	評価の指標は、収支率、1便あたりの利用者数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに再編実施計画による再編により持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
対馬市地域公共交通活性化協議会	株式会社美津島タクシー	鶏知～緒方間予約制乗合タクシーの運行(鶏知・緒方線)	新規のため該当なし	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す		
対馬市地域公共交通活性化協議会	対馬市	田ノ浜～櫻滝間コミュニティバスの運行(櫻滝線)	新規のため該当なし	A	B	対馬市が29年度から新たな施策として開始した、75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り、新たな利用者の増加を目指す		
対馬市地域公共交通活性化協議会		田ノ浜～佐賀間コミュニティバスの運行(佐賀線)						
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ①浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ②浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ④江の浜線2	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	<p>評価の指標は、1往復あたりの利用者数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(①浜串～有川線、②浜串～有川線、⑥江の浜線4、⑦江の浜線5、⑨神ノ浦線2、⑩神ノ浦線4)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標を達成できなかった系統の要因を分析するとともに引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑤江の浜線3	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑥江の浜線4	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑦江の浜線5	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑧神ノ浦線1	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑨神ノ浦線2	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑩神ノ浦線3	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑪神ノ浦線4	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	A	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
新上五島町交通ネットワーク促進協議会	西肥自動車株式会社 ⑬神ノ浦線6	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニューズレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、近隣の桜木団地からの路線延長、ダイヤ、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討作業を5回行った。自治会の班長会議で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動を行い、利用者増につながった。	A	A	更なる利便性向上のため、「交通対策協議会」では乗車人員データをもとに利用者ニーズを把握し、路線、ダイヤの見直し等を分析・検討する。ミニ時刻表などを作成し、PR活動を行い、利用促進に向けた取り組みを行う。	評価の指標は、1回あたりの平均乗客数。地元住民代表等による交通対策協議会において、改善策を協議するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)今村線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き住民の移動手段の確保に努める。	評価の指標は、平均乗車密度。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(今村線、野岳湖線、富の原・協和町線、黒丸入口)についても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)野岳湖線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き住民の移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)富の原・協和町線(野岳入口)	事業評価結果を反映することができなかった。	A	A	引き続き住民の移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)富の原・協和町線(黒丸入口)	事業評価結果を反映することができた。	A	B	今後も路線のPR活動を継続し、利用者の動向に合わせてダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)南部循環線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も路線のPR活動を継続し、利用者の動向に合わせてダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)小路口・諏訪線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き住民の移動手段の確保に努める。		
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行)黒木線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	引き続き住民の移動手段の確保に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
五島市地域公共交通会議	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統運行	運行事業者が利用者への改善の要望などを聞き取り、渡船待合所に配布用の時刻表及び運行ルートのパンフレットを置き利用促進を図った。	A	B	利用者数拡大を目指し、運行事業者や地域町内会と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。	<p>評価の指標は、年間利用者数、平均運行率、1運行あたりの利用者数が用いられている。地域の町内会及び運行事業者と連携するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(五島市福江島内1系統運行)についても成功例として同様に分析されることに期待します。</p> <p>引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
五島市地域公共交通会議	丸濱産業有限会社 奈留交通有限会社	五島市奈留島内5系統運行	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用者がなかった路線の廃止を含めた見直し及び利用促進活動に取り組む。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。		
五島市地域公共交通会議	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行 (福江～樫之浦～観音平線)	市役所奥浦出張所に運行ルート及び時刻表を配置し、更なる利用促進に取り組んだ。	A	A	車内及び市役所奥浦出張所など主要な施設に運行ルート及び時刻表のパンフレットを配置し、更なる利用促進に取り組む。		
五島市地域公共交通会議	丸濱産業有限会社	五島市奈留島内1系統運行(汐池線)	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、適切な目標設定及び利用促進活動に取り組む。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。		
五島市地域公共交通会議	株式会社大波止タクシー 有限会社西海タクシー 有限会社五島観光タクシー	五島市中心市街地周辺3系統運行 (大津・小田・木場方面)	—	A	B	すべての系統において目標を達成することができなかった。 【大津方面】 計画では年間の利用者目標数4,550人に対して利用実績2,455人だった。 【小田方面】 計画では年間の利用者目標数5,470人に対して利用実績3,061人だった。 【木場方面】 計画では年間の利用者目標数3,170人に対して利用実績1,440人だった。		
五島市地域公共交通会議	有限会社五島観光タクシー	五島市富江地区1系統運行(富江～黒瀬線)	—	A	C	地域住民や関係者と協議し系統の見直しを検討する。		
五島市地域公共交通会議	株式会社大波止タクシー 有限会社西海タクシー	五島市岐宿地区1系統運行(岐宿～川原線)	—	A	C	地域住民や関係者と協議し系統の廃止も含め見直しを検討する。		
五島市地域公共交通会議	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行(空港線)	—	A	B	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業者のホームページで周知を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島原市地域公共交通協議会	島原鉄道株式会社	本市北部に位置する有明地区を唯一運行している「水分番産線」の維持・確保を図る	本市の公共交通利用者数は、年々減少傾向である、本事業年度は、島鉄がREVIC等の再生支援を受け、体制が変わるなど市内公共交通をとりまく環境の変化が多い年だった。本年度は新規需要の掘り起こしのために、企画乗車券の拡充をおこなったり、また、平成30年8月4日には利便性を高めるため、ダイヤ改正を行い、島鉄内の他モードとの連携を強化。本システムを含め、市民全体をまきこんだ市内公共交通のPR及び利用促進策を検討中である。	A	B	・運行情報など広く周知を図るとともに、免許返納を検討している高齢者などをはじめとして自動車からの転換を促し、島原鉄道をはじめとして、市内公共交通事業者と一緒に市民全体を巻き込んだ公共交通のPRや利用促進策を行う。  ・企画乗車券の拡充を行ったが、全体的な利用者の減少を見ると一過性のものにとどまっている。現在の利用者の利便性確保はもちろんのこと、定期的に乗車していただける新規利用者の掘り起こしが課題	評価の指標は、平均乗車密度。平成30年8月に鉄道、バスのダイヤ改正を行い、フェリーを含めた交通機関の利便性向上に取り組まれていること及びバスに乗り込み利用者の聞き取り調査により利用者ニーズの把握に努められていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	路線バスの運行(鷹島(阿翁浦線))	補助対象事業者が、平成30年3月12日にニモカ(交通系ICカード)を導入している。その他利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階において協議会において検討する。	A	B	定期的に利用状況の分析を行う。また、昼間帯や休日の利用が少ない時間帯については、路線バスから乗合タクシーへの転換等運行の効率化を検討する。		
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	乗合タクシーの運行(阿翁浦線)	網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である平成33年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	A	収支率は目標を達成したが、利用人員は年々減少傾向にあるため、利用促進策を強化する必要がある。	評価の指標は、路線ごとの収支率。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(阿翁浦線、殿の浦線、船唐津線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
松浦市地域公共交通活性化協議会		乗合タクシーの運行(殿の浦線)	網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である平成33年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	A	収支率は目標を達成したが、利用人員は年々減少傾向にあるため、利用促進策を強化する必要がある。		
松浦市地域公共交通活性化協議会		乗合タクシーの運行(船唐津線)	網形成計画において、鷹島タクシーの利用者数については、計画の最終年度である平成33年度の目標値を12,700人と設定している。利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	A	収支率は目標を達成したが、利用人員は年々減少傾向にあるため、利用促進策を強化する必要がある。		
天草市公共交通連携協議会	産交バス(株)	(1)南北循環線 ①右廻り 本渡BC→本渡港 →天草中央総合病院 →本渡BC→中央新町 →天草市役所前→本渡BC ②左廻り 本渡BC→天草市役所前→中央新町 →本渡BC→本渡港 →天草中央総合病院→本渡BC (2)南北循環線短縮 ①右廻り 本渡BC→中央新町→天草市役所前→本渡BC ②左廻り 本渡BC→天草市役所前→中央新町→本渡BC ※上記、本渡BCは本渡バスセンターの略	地域から医療機関への乗り入れについての要望があったことから、現地での乗降調査を実施するとともに、その可能性を検討している。また、公共交通乗り方教室の開催、バスを利用した「フチたび」の提案等の利用促進策を実施した。	A	B	本渡バスセンターを発着する幹線バスや他の公共交通モードとの結節の向上、利用者の増加が見込める公共施設や医療機関への乗り入れ等を検討していくことで、持続可能な公共交通体系の維持・確保に努める。	評価の指標は、年間利用者数及び1便あたりの利用者数。小学生等を対象にした公共交通乗り方教室の開催、路線バス等を利用した「フチたび」を企画するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の増加が見込める公共施設や医療機関への乗り入れ等を踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	ゆるっとバス白水路(白川水源入口・立野病院経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H29.10.1～H30.9.30)	地域からの意見等は随時受け付けており、ニーズ把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況に合わせて、柔軟に運行ルートやダイヤの見直しを行い、公共交通の確保に努めた。	A	A	復旧状況やニーズに合わせて、柔軟にルートやダイヤを見直し、より利便性の高い住民の生活公共交通及び観光客の公共交通を確保する。	評価の指標は、年間利用者数。平成28年熊本地震の復旧状況にあわせて、柔軟に運行ルート、ダイヤの見直しを行い利便性向上に取り組みられていること、被災で休止している地獄・垂玉線以外の4系統が目標達成していることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	ゆるっとバス久木野ルート(あそ望の郷・阿蘇ファームランド経由)高森駅前～アーデンホテル阿蘇線(H29.10.1～H30.1.31)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	ゆるっとバス白水路(白川水源入口経由)高森駅前～大津駅(南口)線(H29.10.1～H30.9.30)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	ゆるっとバス久木野ルート(あそ望の郷・阿蘇ファームランド経由)高森駅前～アーデンホテル阿蘇線(H30.2.1～H30.9.30)		A	A			
南阿蘇村公共交通連携協議会	(南)阿蘇観光タクシー (南)高森駅前タクシー (共同運行)	地獄・垂玉線(下田城ふれあい温泉駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中(H29.10.1～H30.9.30)	平成28年熊本地震以降、地獄・垂玉への道路が不通のため運行休止となっている。	-	-	道路の復旧後、乗合タクシーの再開と併せて、観光客や地元住民への周知を図り、利用客数の回復を図る。		
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄(株)	レターバス	合志市内スーパーやコンビニへのガイドブックの設置、バスの乗り方教室の実施や既存のサービスを行い、新規利用者の掘り起こしを行った。また、公共交通以外の出前講座の際にもサロン等で案内を行った。	A	B	目標値に対し、結果は下回っているため、利用者増加のため、更なる公共交通利便性の向上を図ると共に利用促進に向け周知啓発等を積極的に行う。特に運行時間帯の改善など、利用者目線での改善を図る。  なお、運行単価増による委託費が増加傾向にあるため、再編計画を視野に入れた交通網の見直し等を行うことで持続可能な公共交通を目指す。 また、高齢化に伴う合志市の公共交通のあり方についても、市民の要望をふまえて推進していきたい。	評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民の満足度、②年間利用者数、③公共交通機関の利用割合、④市民1人あたりの運行委託料。バスの乗り方教室の実施、公共交通以外の出前講座を活用した周知活動など利用促進に取り組まれていることを評価します。4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、利用者数は前年度より増加している。目標設定は引き続き複数の評価項目を設定するとともに人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄(株)	レターバス(左回り平日1便目)						
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄(株)	日向・新迫線						
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	水俣駅・葛彩館線 水俣駅前～水俣市役所・渡野～葛彩館	バス停の追加、一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。	A	A	利用状況の調査、分析を行い、利用しやすいダイヤの設定など、路線の見直しも含めて検討を行っていく。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	水俣駅・大川線 水俣駅前～深川・ 愛林館前～大川	地域と連携し、バスの乗り入れができていなかった集落までバス路線を延伸した。バス停の追加に伴い、時刻表を改訂し配布した。	A	C	天候による要因もあるが、利用者数が減少しているため、利用状況の分析を行い、路線の見直しも含めて検討を行っていく。	評価の指標は、年間利用者減少率。 地元住民と連携して、バス路線がなかった山間集落まで、路線延長し、新たに時刻表を改訂し配布するなど利便性向上に取り組まれていること及びバスの乗り方教室を継続して開催し利用促進に取り組まれていることを評価します。
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	流合橋経由招川内・茂道線 招川内～流合橋・ 水俣駅前～茂道漁港	バス停の追加、一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。	A	B	沿線住民との意見交換や、利用状況分析を行い、路線の見直しも含めて検討を行っていく。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(水俣駅・葛彩館線、頭石経由招川内・茂道線、木臼野経由水俣市役所・水俣駅線、水俣市役所・木臼野線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	頭石経由招川内・茂道線 招川内～頭石・ 水俣駅前～茂道漁港	バス停の追加、一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。	A	A	利用状況の調査、分析を行い、利用しやすいダイヤの設定など、路線の見直しも含めて検討を行っていく。	引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに、次期地域公共交通網形成計画の策定に向けた取組が計画的に進められることにより、まちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	木臼野経由 水俣市役所・水俣 駅線 水俣市役所～梅 戸・ 木臼野～水俣駅前	バス停の追加、一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。	A	A	利用状況の調査、分析を行い、利用しやすいダイヤの設定など、路線の見直しも含めて検討を行っていく。	
水俣市地域公共交通会議	産交バス株式会社	水俣市役所・木臼野線 水俣市役所～梅 戸・茂川～木臼野 上	バス停の追加、一部路線のルート変更に伴う時刻表の改訂を行い配布を行った。	A	A	利用状況の調査、分析を行い、利用しやすいダイヤの設定など、路線の見直しも含めて検討を行っていく。	
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型乗合タクシー(きんぎょタクシー)の運行(長洲町内全域及び荒尾市の特定施設)	H30年3月に公共交通マップを作成し、利用促進を図った。	A	A	利用者が増加しているため、引き続き利用実態を把握しながら、効率的な輸送サービスを検討していく。	評価の指標は、年間の利用者数及び財政負担の維持・抑制。 利用者数が増加しており、評価項目が目標達成していることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
宇城市地域公共交通会議	松橋タクシー有限公司	長崎区域～不知火 中心市街地の運行	多世代の住民が集まる地域のイベントで周知を行ったものの、利用者は減少していった。	B	C	囑託員や運行事業者と協議し、要望のあった商業施設までの系統変更や利用促進活動を行い、結果を踏まえて今後の運行継続を協議する。	評価の指標は、1便あたりの利用者数、収支率。 JTR三角駅発着ダイヤとの調整による利便性向上及び乗合タクシー利用者の聞き取り調査により利用者ニーズの把握に取り組まれていることを評価します。
宇城市地域公共交通会議	有限会社小川タクシー	小野部田区域～小 川中心市街地の運 行	調査事業を利用して乗り込み調査を行い、ニーズ把握調査を行った。	A	B	囑託員と周知活動に取り組むとともに、反映すべき利用者の声を受け事業者と改善を検討し、利用促進を図る。	目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
宇城市地域公共交通会議	産交バス株式会社	三角産交～三角西 港～さんばー間の 運行	観光路線及び生活交通路線として、JTR三角線と適切な接続を維持し、利用促進に努めることで運行維持を図った。	A	B	他系統との役割を明確にし、沿線自治体の上天草市及び運行事業者と連携し、利便性の高い系統への変更を検討する。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
益城町地域公共交通会議	熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー	福田地区～木山産交バス停・木山上町・惣領の予約型運行(1日4便)	事業実施地域の高齢者を対象に、事業の説明及び意見ヒアリング、アンケートを兼ねた説明会を5箇所、計57名に実施した。	A	B	継続して事業再開の周知を行うと共に、利用者や地域住民へのヒアリング等を通して、地域の交通ニーズを把握する。 また、これまで把握した意見を元に、事業改善策について、事業者との調整を図りながら試験導入も含めた取組を実施する。	評価の指標は、月平均の利用者数。 高齢者を対象にした説明及びヒアリング、アンケートを行うなど利用者ニーズの把握に取り組みられていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(①益城役場線、②広安循環線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
益城町地域公共交通会議	産交バス(株)	①益城役場線 テクノ団地～益城町役場前～木山産交(1日12便) ②広安循環線 テクノ団地～広安団地・古閑入口・広安団地～テクノ団地(1日15便)	仮設住宅居住者からの通勤、通学、通院、買物等の総合的な交通手段の確保に努めた、一方、運行ダイヤについては、利用者の減少が緩やかであったことや仮設住宅の供与期間延長が決まったこと等により、着手することが出来なかった。	A	A	引き続き、仮設住宅等からの通勤、通学、通院、買物等の総合的な交通手段を確保する。 運行ダイヤについては、応急仮設住宅の集約を視野に入れつつ、幹線路線との接続性や利用者の声、今後建設が進む災害公営住宅への入居者などの意向を踏まえ、利便性の向上と経費の節減を図る。	引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
宇土市地域公共交通会議	【宇土市ミニバス】 ・(有)西田タクシー ・(有)中川タクシー ・宇城タクシー(有) 【宇土市コミュニティバス】 ・産交バス(株)	【宇土市ミニバス】 ・宇土北部線 ・網津・緑川線 ・轟線 ・花園北部線 ・花園南部線 【宇土市コミュニティバス】 ・循環線外回り ・循環線内回り	目標未達成路線について、ニーズの把握を再調査の上、バス停の見直しや路線の統廃合を行い、運行の効率化を図った。	A	A	事業は適切に実施されており、目標も達成できた。 今後も利用者の利便性の向上やアンケート調査などのニーズ把握、新規顧客獲得に向けた取り組みなどを行い、利用者数の増を目指す。	評価の指標は、1日当たりの利用者数。 目標未達成路線の利用者ニーズを把握することにより、バス停の見直し、路線の統廃合を行い交通網の維持に取り組みされていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
阿蘇市地域公共交通会議	(株)りんどうタクシー (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性の向上及び制度の周知のため利用ガイドを配布した。	A	B	事業の周知徹底図るため、福祉関係部門と連携し利用促進活動を行う。また、更なる利便性の向上を図るため、円滑な公共交通機関との接続等のダイヤ編成についても併せて検討する。	評価の指標は、月平均利用者数。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
上天草市地域公共交通会議	産交バス株式会社	三角西港経由 三角産交・さんば一る線の運行	利用者のニーズに対応するため、幹線交通であるJRあまくさみすみ線との接続を図るダイヤの変更を実施した。(H30.3～)。	A	C	本系統は、平成27年7月に世界遺産登録された三角西港を経由するルートとなっており、生活交通に加えて観光目的の利用を期待できるものの、世界遺産登録から3年が経過し、輸送人員が減少傾向に転換したことから、その効果が薄まりつつあると考えられる。 これまで以上に、利用者の増加のために認知度を高める広報に努めるとともに、運行データの分析等を行い、利用ニーズに合った運行体系を検討していく。	評価の指標は、収支率、年間輸送人員。 JR三角駅発着ダイヤとの調整より利便性向上に取り組みられていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 目標を達成していない系統の要因を分析するとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
上天草市地域公共交通会議		治郎田・宮島経由 登立循環線の運行	-	A	C	本系統は、定額運賃の循環路線であり、その利便性を今後も広報周知を行っていくと共に、利用者の利用状況等を鑑みながら、幹線バスやその他路線バスとの接続性も検討し、引き続き利便性の向上に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	利用者の利便性向上を図るため、7～9月の夏季限定で、最終便を1便追加した。	A	C	利便性に関する満足度及び利用者数を増加させるため、利用実態を把握しながら、運行サービスの拡充や利用方法の周知強化などにより利用者促進を図る。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、 平和タクシー(有)、 (有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	利用者の利便性向上を図るため、7～9月の夏季限定で、最終便を1便追加した。	A	C	利便性に関する満足度及び利用者数を増加させるため、利用実態を把握しながら、運行サービスの拡充や利用方法の周知強化などにより利用者促進を図る。	評価の指標は、全体の年間利用者数及び利便性に関する満足度。乗合タクシーを夏期限定(7～9月)で17時発の便を増便し利便性向上に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 目標を達成していない系統の要因を分析するとともに引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されるとともに荒尾市地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	住吉線の運行	本市マスコットキャラクター「マジャッキー」をデザインするとともに、バスの利便性向上を伝えるメッセージをデザインしたラッピングバスを運行することで、利用促進を図った。	A	C	利便性に関する満足度及び利用者数を増加させるため、個々の生活パターンに合った公共交通の利用提案書を提供するなどのモビリティマネジメントを実施する。また、バスの利便性に関する情報提供を行う。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	助丸線の運行	本市マスコットキャラクター「マジャッキー」をデザインするとともに、バスの利便性向上を伝えるメッセージをデザインしたラッピングバスを運行することで、利用促進を図った。	A	C	利便性に関する満足度及び利用者数を増加させるため、個々の生活パターンに合った公共交通の利用提案書を提供するなどのモビリティマネジメントを実施する。また、バスの利便性に関する情報提供を行う。	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	産交バス(株)	八幡台線の運行	本市マスコットキャラクター「マジャッキー」をデザインするとともに、バスの利便性向上を伝えるメッセージをデザインしたラッピングバスを運行することで、利用促進を図った。	A	C	利便性に関する満足度及び利用者数を増加させるため、個々の生活パターンに合った公共交通の利用提案書を提供するなどのモビリティマネジメントを実施する。また、バスの利便性に関する情報提供を行う。	
玉名市地域公共交通会議	有限会社岱洋タクシー 玉名タクシー有限会社 有限会社高瀬合同タクシー 有限会社アトム	(1)滑石・岱明地域 (2)大浜・横島地域 ※いずれも予約制乗合タクシー	公共交通マップ等で情報提供の充実を図るとともに、主に補助対象事業者を通じて利用者ニーズ等の把握に努めた。	A	C	運行事業者等と定期的に意見交換を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに必要に応じ運行内容の見直し検討を行う。また、特に新規利用者の増加に向け広報誌等で周知を行う。	
玉名市地域公共交通会議	産交バス株式会社	(3)九州看護福祉大学經由玉名駅・新玉名駅線 (4)玉名市街地循環線	公共交通マップ等で情報提供の充実を図るとともに、補助対象事業者及び当該対象事業の主な利用者である九州看護福祉大学と定期的に意見交換を実施し、必要な変更を行った。	A	B	引き続き、定期的な意見交換を実施し、利用者ニーズの把握に努めるとともに、必要に応じ運行内容の見直し検討を行う。	
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通株式会社	津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	・広報用パンフレットの配布(平成29年10月1日)つなぎタクシーの利用方法をまとめたパンフレットの全戸配布(約2,000部)を行い、利用促進を図った。 ・回数券の発行(町内3,000円(300円券11枚綴り)・町外8,000円(800円券・11枚綴り)の販売を引き続き行い、利用促進、利便性の向上を図った。	A	B	・路線バス及び鉄道との結節(乗継)をより推進し、相互の利用者数の増加、利便性の向上を図る。 ・利用方法等についての周知、情報提供をさらに充実させ利用者の増加を図る。 ・住民アンケート等を行い利用者ニーズの把握を行う。 ・免許自主返納者に対する優遇措置等、新たな特典事業を展開し、新規利用者の掘り起こしを行う。	評価の指標は、公共交通カバー率及び一日あたりの利用者数。事業評価はBとなっているが、公共交通カバー率がつなぎタクシーの運行により100%となっていること、利用者数が前年度より増加していることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	東町線(区域)の運行	路線バスから乗合タクシーに転換することで効率化を図るとともに、交通空白地域への乗り入れや沿線の需要が高い新八代駅、熊本労災病院への延伸により利便性向上を図った。	A	C	利用者が再編以前の路線バスより減少していることから、	評価の指標は、系統毎の年間輸送人員。 平成29年10月に地域公共交通再編実施計画に基づき、路線バスから乗合タクシーへの転換を行うなど公共交通網再編を実施していることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(日奈久～坂本線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	産島線(区域)の運行	路線バスから乗合タクシーに転換することで効率化を図るとともに、イオン八代に接続することで、市街地循環バスとの乗り継ぎ利便性向上を図った。	A	C	①乗り継ぎ時刻表や、再編路線沿線を対象とした啓発チラシ、出前講座により、利用の障壁となっている「利用方法」を中心に周知を行う。 ②運行時刻や運行方法について、ニーズを把握し、再編実施計画期間終了後の見直し検討を行う。	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	平和町線(路線定期)の運行	路線バスから乗合タクシーに転換することで効率化を図るとともに、交通空白地域への乗り入れや沿線の需要が高いゆめタウン八代を起終点にすることで、利便性向上を図った。	A	C		
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	日奈久～坂本線(区域)の運行	路線バスを減便した日中の移動需要に応えるため、乗合タクシーを導入。これまで必要があった乗り継ぎを不要とするとともに、交通空白地域に乗り入れることで利便性向上を図った。	A	A	引き続き、乗合タクシーによるおでかけプラン等を周知し、新たな利用需要開拓を行う。	
和水町地域公共交通会議	有限会社高瀬合同タクシー	菊水線	-	A	C	運行開始後の平成30年4月に、利用登録者を対象としたアンケート調査を実施。 寄せられた意見を基に課題を整理し、同年10月より運行内容の改善を実施した。(運行時間帯の拡大・乗降場の追加)	評価の指標は、おでかけ交通の利用登録者数、高齢者が参加する集会において、おでかけ交通の利用方法や公共交通の利用啓発を実施することにより利用促進に取り組みられていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 目標を達成していない系統の要因を分析するとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
和水町地域公共交通会議	有限会社三加和タクシー	三加和線	-	A	C	今後も住民に対し、おでかけ交通「あいのりくん」の利用方法(利用登録・電話予約方法)に関する広報活動を積極的に実施する。(町広報誌への特集記事の掲載、関係団体との連携による周知)	目標を達成していない系統の要因を分析するとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
山江村地域公共交通会議	山江村	乗合タクシーまるおか号(山田線・万江線・山江線)	平成30年度を初年度とする事業であり、前回の事業評価はなし	A	A	山江村においては、高齢者の利用者数は、増加しているが、子供の利用が少ないので、もっと効率的で利便性が高い地域公共交通体系を構築する。 なお、平成29年10月から区域運行を実施し、病院やスーパーマーケット等に停留所を増設している。また、利用状況や利用者の意見、交通事業者への影響などを検証する。	評価の指標は、年間の利用者数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線		A	B		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大入島線		A	B		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 床木線		A	B		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 切畑線1	地域での説明会を開催し事業に対する意見の聴衆及び利用促進を行った	A	B	平成30年10月1日から大分県南部圏地域公共交通再編実施計画により、コミュニティバス路線と大分場バス路線の再編を実施し利便性、住民の負担減等を図り、利用者増を目指す。	評価の指標は、全路線の1便あたりの平均利用率。地域で説明会を開催し利用促進及び利用者ニーズの把握に取り組みられていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(櫻峰線1、櫻峰線2)についても成功例として同様に分析されることに期待します。平成30年10月の大分県南部圏地域公共交通再編実施計画による再編より、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 切畑線2		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 切畑線3		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 大間線		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 山梨子線1		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 山梨子線2		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 腰越線1		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 腰越線2		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 腰越線3		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 腰越線4		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 風戸線		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 小川線1		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 小川線2		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 櫻峰線1		A	A			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 櫻峰線2	A	A				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 檜峰線3		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 檜峰線4		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 三股線1		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 三股線2		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 直川線		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線		A	B			
佐伯市地域公共交通確保維持改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 旧定時定路線		A	B			
九重町地域交通協議会	九重町 小平谷線	小平谷～豊後中村駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 寺床線	寺床～豊後中村駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 うるが線	うるが～引治駅～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 小園線	猪牟田～九重町役場～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し栗原小園線(予約運行型乗合タクシー)で運行を行っている。	評価の指標は、系統ごとの乗車人数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(豊後中村線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。平成30年10月の九重町地域公共交通再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることを期待します。	
九重町地域交通協議会	九重町 中須上旦線	中須～九重町役場～恵良駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し龍門線へ統合し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 龍門線	野倉～恵良駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 豊後中村線	塚脇～恵良駅～豊後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	平成30年10月に再編し九重縦断線へ統合し運行を行っている。		
九重町地域交通協議会	九重町 鹿伏桐木線	豊後中村駅～鹿伏～豊後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し運行を行っている。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考				
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点			評価結果			
九重町地域交通協議会	九重町 栗原線	竹の下～引治駅～竹の下の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	C	平成30年10月に再編し栗原小園線(予約運行型乗合タクシー)で運行を行っている。						
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株) 中央病院～津久見駅線	中央病院～津久見駅の運行	乗合タクシーへの乗降調査を実施し、丁寧且つ効果的な周知及び利用者の声をききながら、利用促進に向けて取組んだ。	A	B	今事業年度では体験試乗会等を実施できなかったが、次年度以降も引き続き行い、地域の声を聴きながら、利用促進の取組を行う。	評価の指標は、1日平均利用者数、年間利用者数。乗合タクシーの乗降調査を実施し利用者ニーズの把握に取り組まれていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。					
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 落の浦～大浜線	落の浦～大浜線の運行	乗合タクシーの乗降調査等を通じ利用者の声を聴きより良い効率的な運行に向け意見収集等を行った。	A	B	乗降調査等を実施する中で、利用者の声を十分に聴き、より効率的な運送サービスを検討していく。利用状況によってはデマンド化を検討。平成30年10月1日より、大分バス佐伯上浦線との円滑な連携を図るため、復路便を蒲戸バス停まで延伸。						
津久見市地域公共交通活性化協議会	日津交通(株) 路線バス17系統	路線バス17系統の運行	わかりやすい時刻表の作成に努め、全戸に配布を行った。	A	B	路線バスの乗降者の状況を乗降調査等通じて把握し、地域での説明会等の中で、より効果的な情報提供に努め、利用促進に取り組む。						
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川～中ノ島～竹田新町～日田の循環コースを運行	地域住民からの要望や意見交換をもとに、利用者のニーズに沿った路線の延伸やダイヤの改正等を実施した。(平成30年7月1日)また、利用促進を目的とする1日無料乗車体験を実施する際に、現在の利用者をはじめ今利用していない人もバスに興味を持つような展示やアトラクションを実施した。	A	B	目標を達成できなかったが、今後も意見交換会を開催しながら、地域住民に寄り添った交通網の形成を進め、利用の呼びかけを行っていく。また、1日無料乗車体験などを通じ、公共交通に乗るきっかけづくりを行う中で、新たな利用者の掘り起こしを進める。		評価の指標は、年間輸送人員数。地域住民の要望により、利用者のニーズに沿った路線延長、ダイヤ改正を実施し利便性向上に取り組まれていることを評価します。全路線の目標を達成していないため、事業評価はBとなっているが系統目標を達成している。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。今後も平成30年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。				
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～城内団地～市役所前～日田の循環コースを運行										
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～玉川～石井～誠和町～日田の循環コースを運行										
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Dコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行										
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 夜明循環線	日田～玉川～夜明～川下～竹田新町～日田の循環コースを運行										
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 杷木循環線	日田～玉川～夜明～杷木～川下～竹田新町～日田の循環コースを運行										
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 杷木線	日田～玉川～夜明～穂坂～杷木のコースを運行										
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～近原～中村～五馬入口のコースを運行					利用者への聞き取り等をもとに、現状の利用状況の把握及び周知に努めるとともに、運行事業者と運行ルートや便数の設定について協議を進めた。		A	B	目標を達成できなかったが、今後も意見交換会を開催しながら、地域住民のニーズに合った時刻や便数の設定を行うとともに、利用の呼びかけを継続して行っていく。	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 大野線	日田～沈橋～中川原～大野～座目木のコースを運行							A	B		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 出野線	日田～高瀬農協前～松金～出野～星私のコースを運行						
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバス利用者数【城崎線、白岩線、上松線、六ヶ迫線、佐志生線、東神野線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための地域検討会を開催した。	A	B	ジャンボタクシー路線の路線見直し及び中型バス路線の小型化及びデマンドタクシー導入について検討を進める。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバス利用率	利用者ニーズを確認するため、乗降調査結果を基に利用促進及び路線見直しのための地域検討会を開催した。	A	B	ジャンボタクシー路線の路線見直し及び中型バス路線の小型化及びデマンドタクシー導入について検討を進める。	評価の指標は、年間利用者数、利用率。乗降調査の結果に基づき利用促進及び路線見直しのための地域検討会を開催するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	民間路線バス利用者数【中津浦線、泊ヶ内線、割後場線】	H29からの目標設定のため事業評価はないが、地域説明会にて地域別時刻表の配布等利用促進に努めた。	A	A	引き続きワーキング会議でバス事業者と利用促進について検討していくとともに、地域説明会でも意見聴取を行っていく。	自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。今後も平成29年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	民間路線バス利用率	H29からの目標設定のため事業評価はないが、地域説明会にて地域別時刻表の配布等利用促進に努めた。	A	A	引き続きワーキング会議でバス事業者と利用促進について検討していくとともに、地域説明会でも意見聴取を行っていく。		
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株)	年間利用者数	H29からの目標設定のため事業評価はない。	A	B	引き続きワーキング会議でバス事業者と利用促進について検討していくとともに、地域説明会でも意見聴取を行っていく。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名:玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、町中の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等)を循環し運行	平成26年10月から地域一体による取組の一環として、民間バス会社と協力・連携し、豊後森駅前のバス停を統一したため、時刻表の見直し・検討を行った。また、広報へ掲載し利用を呼び掛けた。	A	B	今後は可能な限りJR豊後森駅のダイヤ改正に対応し、JRとの連結を円滑にすることで、利用者の利便性の向上及び新規利用者の確保を図りたい。	評価の指標は、年間利用者数。自治区への周知など利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(岩室線、伐株線、日出生線通字便、日出生線ふれあい便)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
玖珠町地域交通協議会	系統名:小型乗合バス(岩室線) 事業者名:大交タクシー(有)	書曲三～下長野の運行	利用促進のため、自治委員会への呼びかけや広報への掲載を行った。また、民間路線バスの廃止に伴いバス停の新設などを行った。	A	A	関係自治区・利用者の日常の声を適切に反映できるよう、事業者との連携・相談体制を密にするとともに、利用者等への調査を行い、路線の見直しを行う。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(伐株線) 事業者名:玖珠町	唐杉～福祉センターの運行	運行経路の見直しに伴い、関係自治区に説明を行い、関係自治区へ時刻表の配布を行った。	A	A	自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。また、自治区に改善要望などの調査を行う。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小田線) 事業者名:玖珠町	小田～福祉センターの運行	利用促進のため、自治委員会への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	地元からの改善要望は無いものの、利用者の少ないバス停も数か所あることから、利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(山浦線通学便) 事業者名:玖珠町	古園～豊後森駅の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:玖珠町事業者名:ふれあい福祉バス(山浦線ふれあい便)	古園～福祉センターの運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線通学便) 事業者名:玖珠町	日出生～豊後森駅の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	A	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(日出生線ふれあい便) 事業者名:玖珠町	尾内～運動公園の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	A	利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。		
玖珠町地域交通協議会	系統名:ふれあい福祉バス(小野原線) 事業者名:玖珠町	小野原～運動公園の運行	利用促進のため、自治委員への呼びかけや広報への掲載を行った。	A	B	関係自治区・利用者の日常の声を適切に反映できるよう、利用者等への調査を行い、利便性の向上を図る。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	八坂線	高齢者の身近にいるケアマネージャー等に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 また、免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	B	1便当たり2人以上となるように、稼働率・利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	評価の指標は、1便あたりの利用者数及び収支率。 ケアマネージャー、免許証自主返納者に対する乗合タクシーの周知を実施し利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものの(東山香線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	北杵築線		A	B	事業の周知・利用の促進をおこなうことで、稼働率・利用者数を増加させ、収支率の上昇に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	東線		A	B	1便当たり2人以上となるように、稼働率・利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	杵築国東合同タクシー(株)	大内線		A	B	1便当たり2人以上となるように、稼働率・利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	(有)日出タクシー	東山香線		A	A	運転手不足等の諸事情から、2018.12.3～2019.12.2の間休止とする。 代替策として、コミュニティバスの系統、便数を増やした対応としている。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	(有)日出タクシー	上線		A	B	運転手不足等の諸事情から、2018.12.3～2019.12.2の間休止とする。 代替策として、コミュニティバスの系統、便数を増やした対応としている。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
杵築市地域公共交通活性化協議会	山香タクシー(有)	中山浦線		A	C	運転手不足等の諸事情から、2018.12.3～2019.12.2の間休止とする。 代替策として、コミュニティバスの系統、便数を増やした対応としている。		
杵築市地域公共交通活性化協議会	山香タクシー(有)	立石向野線		A	C	運転手不足等の諸事情から、2018.12.3～2019.12.2の間休止とする。 代替策として、コミュニティバスの系統、便数を増やした対応としている。		
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	大野竹田バス株式会社	<p>&lt;清川町&gt; 通学西小線、清川・市民病院線の運行</p> <p>&lt;緒方町&gt; 南部東線、南部西線、上緒方線、小富士線、長谷川線、上緒方・小富士線、長谷川・南部線の運行</p> <p>&lt;朝地町&gt; 朝地・市民病院線、北部幹線、鳥屋線、近地・普光寺線の運行</p> <p>&lt;大野町&gt; 古殿線、貴原線、木浦畑線、岩杉線、沢田線、牧原・広戸線、藤浪線、田中・市民病院線の運行</p> <p>&lt;千歳町&gt; 下山・前田線、高柴線、船田線、石田・大高線の運行</p>	利用者の伸び悩んでいる緒方町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、緒方地域の利用促進につなげた。	A	B	利用者が伸び悩んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー制度に基づく区間廃止、バス停廃止等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。 分かりやすい公共交通の情報提供として、地域別にきめ細かく具体的利用方法等を紹介したチラシの作成等を行う。	評価の指標は、①1人あたりの運行コスト、②利用者満足度、③年間利用者数。 大学、高校との共同による「大人の社会見学」を実施し利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。	
豊後大野市地域公共交通活性化協議会	豊後大野市タクシー協会	<p>&lt;三重町&gt; 川辺・向野線、小坂線、山田線、内田線、菅尾線、あいのりタクシーの運行</p> <p>&lt;清川町&gt; 通学東小線、あいのりタクシーの運行</p> <p>&lt;緒方町&gt; 長谷川線、上緒方・小富士線、長谷川・南部線の運行</p> <p>&lt;朝地町&gt; 鳥屋線、近地・普光寺線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南部幹線、田夫時線の運行</p> <p>&lt;犬飼町&gt; 高津原線、田原・戸上線、西寒田線、宇津尾木線の運行</p>	利用者の伸び悩んでいる緒方町において利用促進策として、「大人の社会見学」という社会実験を引き続き実施し、緒方地域の利用促進につなげた。	A	B	利用者が伸び悩んでいる地域を中心に、利用促進を積極的に行っていく。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー制度に基づく区間廃止、バス停廃止等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。 分かりやすい公共交通の情報提供として、地域別にきめ細かく具体的利用方法等を紹介したチラシの作成等を行う。	今後はトリガー制度に基づく区間廃止等の協議を検討されており、引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号1]	中の迫～伊美(岐部経由)		A	C			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号2]	中の迫～伊美小(岐部経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美(小原経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)竹田津線 [申請番号4]	国東～伊美(伊美港経由)		A	A			
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)赤根線 [申請番号5]	伊美～赤根(国見中町経由)		A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考				
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点						
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)西方寺線 [申請番号6]	伊美～西方寺 (国見中町経由)		A	A		<p>評価の指標は、系統ごとの年間輸送人員の減少率抑制。利用者への聞き取り調査を実施し利用者ニーズの把握に取り組みられていること、聞き取り調査で好評だった利用助成券制度を引き続き実施するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。</p> <p>自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(中の迫～伊美小、国東～小原～伊美、国東～伊美港～伊美、伊美～西方寺、国東～福川、国東～土成仏、安岐～諸田)についても成功例として同様に分析されることに期待します。</p> <p>目標を達成できなかった系統の周知、利用者ニーズを把握するとともに、引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>					
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)豊崎線 [申請番号7]	国東～福川 (国中・小原経由)		A	A							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)豊崎線 [申請番号8]	国東～福川 (小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)豊崎線 [申請番号9]	国東～行入 (小原経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施した。	A	C	平成26年度より開始した利用助成券を用いた運賃割引制度を引き続き行うとともに、路線周域の住民に制度の周知徹底を図る。						
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)上国崎線 [申請番号10]	国東～上成仏 (小原経由)	また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。特に、市の広報紙では公共交通特集を掲載し、公共交通を利用していない市民へも公共交通の現状や、将来にわたって維持する取組について周知と利用促進を図った。利用者への聴き取り調査も引き続き実施した。	A	A	また、利用助成券の利用可能な事業者の拡大を検討し、市域を超えて運行する幹線系統の路線バスと域内の路線バス・コミュニティバス・コミュニティタクシーの乗継利用者の運賃負担軽減と利便性向上を図り、乗車人員の維持を図る。						
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)上国崎線 [申請番号11]	国東～上成仏 (国中・小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)文珠線 [申請番号12]	国東～文珠 (小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)文珠線 [申請番号13]	国東～文珠 (国中・小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)文珠線 [申請番号14]	国東～夫婦石 (小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)岩戸寺線 [申請番号15]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)岩戸寺線 [申請番号16]	国東～岩戸寺上 (小原経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)丸小野線 [申請番号17]	国東～丸小野上 (武蔵経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)朝来線 [申請番号18]	安岐～諸田 (市民病院経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)朝来線 [申請番号19]	安岐～諸田 (長瀬経由)		A	A							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)両子線 [申請番号20]	安岐～両子寺 (市民病院経由)		A	C							
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株)両子線 [申請番号21]	安岐～両子寺 (梅園の里経由)		A	C							
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	豊岡線	<p>【九州運輸局評価結果】</p> <p>評価の指標には、運行の態様ごとの1日あたりの利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。</p> <p>【反映状況】</p> <p>上記指摘を受け、平成31年度生活交通確保維持改善計画から、設定する目標値を路線全体の1日あたりの利用者数から、路線毎の1便あたりの利用者数に改め、より具体的に路線個別の評価を行うこととした。</p>	A	A	<p>【今後の改善点】</p> <p>左記のとおり改善計画の目標値は達成したものの、路線個別に様々な改善点が山積しており、既にニーズ調査結果と利用実態を整理し、30年10月にコミバス8路線を6路線に再編するダイヤ改正を実施して、利便性の向上と路線の効率化を図った。また、町広報誌にてコミバス特集を掲載する等して住民への周知啓発を行っている。どの路線も1便あたりの利用者数が2.0人を上回るよう、不断に運用改善と利用促進に取り組んでいきたい。</p>	<p>評価の指標は、1日あたりの利用者数。利用者から要望のあったバス停の新設、増便要望に対応するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。</p> <p>自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。</p> <p>引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>					
日出町生活交通確保維持協議会		藤原赤松線 基本路線										
日出町生活交通確保維持協議会		藤原一北線 基本路線										
日出町生活交通確保維持協議会		川崎金井田線										
日出町生活交通確保維持協議会		大神線										
日出町生活交通確保維持協議会		南端農道線										



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日出町生活交通確保維持協議会		南端県道線						
日出町生活交通確保維持協議会		川崎内野線						
日出町生活交通確保維持協議会	国東観光バス(株)	牧の内線	【九州運輸局評価結果】 評価の指標には、運行の様相ごとの1日あたりの利用者数が用いられている。利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化できると、より具体的な評価が期待される。  【反映状況】 上記指摘を受け、平成31年度生活交通確保維持改善計画から、設定する目標値を路線全体の1日あたりの利用者数から、路線毎の1便あたりの利用者数に改め、より具体的に路線個別の評価を行うこととした。	A	A	【今後の改善点】 左記のとおり改善計画の目標値は達成したものの、路線を個別にみれば前年比減となっている路線もある。今後、路線毎の利用実態を調査し、ニーズ調査も実施し次期計画に向け改善点を整理する。  また、民間路線バスについては住民への周知啓発等が不十分なところもあり、今後、日出町生活交通確保維持協議会等において有効な利用促進について十分に協議を行う必要がある。		
日出町生活交通確保維持協議会		平原線						
日出町生活交通確保維持協議会		軒の井線						
日出町生活交通確保維持協議会		深江線						
日出町生活交通確保維持協議会		小深江線						
日出町生活交通確保維持協議会		真那井線						
日出町生活交通確保維持協議会								
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 弓立ルート(通常便:戸次)	弓立~戸次の運行	(前回の事業評価結果) 評価の指標には、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数の4指標が用いられている。 きめ細かい地域検討会・説明会を行い利用者の意見に基づく運行計画を立てている点は非常に高く評価できる。利用者のニーズとその対応に関してこれらが指標に加わると、よりその系統の具体的な評価に繋がるものと期待される。  (反映状況) 地域検討会・説明会を行い、利用者から出た意見に基づき、運行ルート・運行時刻表を設定した。また、停留所の増設に加え、要望のあった場所にベンチを設置するなど、利便性の向上に努めた。利用者のニーズとその対応に関する指標については、客観的かつ合理的な評価指標を今後の計画に盛り込むよう検討している。	A	B	●路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続して実施し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行うため、利用者との協働で、以下の事項の検討に取り組む。 ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズ ・次年度の運行計画 ・利用促進  ●利用者の利便性の向上を図るとともに、地域への運行の周知を図るため、以下の事項に取り組む。 ・停留所標柱やベンチを設置した停留所の拡大 ・地区公民館への大型時刻表の掲示  ●高齢者が多く所属する団体などへの資料送付や、市報等を通じて制度の周知を図り、利用者の増加に取り組む。  ●路線バスとの接続の利便性の向上を図りながら、更なる利用者の増加に取り組む。	評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数。 利用者が参加する「地域検討会」の開催状況、④検討会等への参加者数。 4項目の目標を達成できなかったため事業評価はBとなっているが、①年間利用者数、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数は目標を達成していることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 弓立ルート(通学便:戸次)	弓立~戸次の運行						
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 弓立ルート(通常便:判田)	弓立~判田局前の運行						
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 判田ルート	安田~判田局前の運行						
大分市地域公共交通協議会	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 中野ルート	中野~戸次の運行						
大分市地域公共交通協議会	大分シティタクシー株式会社 延命寺ルート	延命寺~坂ノ市の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 市尾ルート	木田南部~坂ノ市の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 屋山ルート	屋山~坂ノ市の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 一木ルート	一木~中向の運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(馬場:往路)	木佐上～馬場の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(馬場:復路)	木佐上～馬場の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 木佐上ルート(神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
大分市地域公共交通協議会	ワーカーズコープタクシー有限公司 大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行						
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 ワーカーズコープタクシー有限公司 大黒ルート	大黒～佐賀関の運行						
中津市公共交通会議	大交北部バス(株)	申請番号1 路線バス事業【永添線】 中津駅～万田～大貞車庫	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	再編実施計画に基づく市域全体の公共交通網再編を行ったので、幹線との接続性についての周知などに力を入れ、公共交通の利用促進に努める。	目標の指数は系統毎の輸送人員数。 バスの乗り方教室の実施、利用者への乗降調査の実施など、利用促進及び利用者ニーズの把握に取り組みられていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標が達成できなかった系統の周知、利用者ニーズを把握するとともに平成28年10月の大分県北部圏再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。	
中津市公共交通会議		申請番号2 路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～野路	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号3 路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～大貞車庫	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号4 路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～中津北高～野路	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号5 路線バス事業【耶馬溪線】 中津駅～中津北高～大貞車庫	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号6 路線バス事業【深秣線】 中津駅～イオン～山口	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号7 路線バス事業【海岸中高線】 さ萩前～鍋島～中津駅	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
中津市公共交通会議		申請番号8 路線バス事業 【田口線】 中津駅～イオン～ 八面山荘	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努め、さらなる利用拡大のため、利用促進策を行う。		
中津市公共交通会議		申請番号9 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～明星 ストア～平田診療 所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	前回実績を踏まえて目標を設定し、目標を達成したが1片道当たり輸送人員2.0人には届かなかった。路線の見直しなど改善が必要。		
中津市公共交通会議		申請番号10 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療 所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	輸送人員が維持できるよう、利用者の環境改善に努める。		
中津市公共交通会議		申請番号11 コミュニティバス 【上ノ川内証木線】 旬菜館～津民診療 所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	毎週利用する乗客が1人いることで年間80～100人程度の乗車人数になるため、定期的に乗る人が2～3人減少したと思われることを踏まえて、再度ニーズの把握に努める。		
中津市公共交通会議		申請番号12 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷 診療所～耶馬溪支 所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
中津市公共交通会議		申請番号13 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷 診療所～耶馬溪支 所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	毎週利用する乗客が1人いることで年間80～100人程度の乗車人数になるため、定期的に乗る人が1人減少したと思われることを踏まえて、再度ニーズの把握に努める。		
中津市公共交通会議	耶馬溪交通(有)	申請番号14 コミュニティバス 【樋山路鎌城線】 耶馬溪支所～下郷 診療所～耶馬溪支 所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	利用状況と住民ニーズを把握し公共交通の利用促進に努める。		
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス(株)	<路線バス> (1)麻生(山口経由) (2)麻生 (3)乙女 (4)豊洲 (5)西椎屋(土岩屋) (6)定別当 (7)日の岳 (8)津房 (21)明治線 (22)宇佐参宮線  <コミュニティバス> (9)上麻生 (10)上麻生(南敷田) (11)西馬城 (12)高家・天津 (13)萱籠・釜ノ口 (14)中山・新貝 (15)古川・上ノ原 (16)大内・塔尾 (17)南毛 (18)安心院亀川 (19)長洲・金屋 (20)上内河野	路線バスについては、地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、路線の再編を行った。運行経費は削減されたが、利用者数を伸ばすことには繋がらなかった。市内各路線を維持し、幹線・支線のネットワークを連携を継続させるため「明治線」「宇佐参宮線」も補助対象とした。  コミュニティバスについては、既存のバス停留所まで比較的距離がある地域について、新規導入ができないか協議を行った。	A	B	路線バスとコミュニティバスの両方の利用者数が減少することとなった。これは、人口減少や比較的多くバスを利用していた方の体調等のほか、路線の再編に伴う変化が影響していると思われる。今後も有効な対策・施策を積極的にしながら、今後も地域の公共交通を発展させていく。	評価の指標には、年間輸送人員数。バス路線図・時刻表を作成し、市内全戸配布するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。平成28年10月の大分県北部圏再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。	
豊後高田市地域公共交通会議		上野線 上野～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	A	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、安定した利用があり、現状維持を目標として、今後も効果的な運行に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株) 香国タクシー	熊野線 田染平野～健康交流センター花いろ～商工会議所	・利用者への聞き取りと要望調査を実施。 ・路線バス、市民乗合タクシー路線図を作成し、市内全戸に配布。 ・公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やバスターミナル等に配布。 ・市の広報媒体を活用して、公共交通の情報発信を実施。 ・公共交通の乗り継ぎをスムーズに行えるように“マイ時刻表”を作成し配布。	A	A	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、安定した利用があり、現状維持を目標として、今後も効果的な運行に努める。	評価の指標は、一便あたりの利用者数及び一人あたりの財政負担。 利用者に、聞き取り、要望調査を実施し利用者ニーズの把握に取り組まれていること及び路線バス、乗合タクシーの路線図を作成し、市内全戸に配布するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(上野線、熊野線、並石線、黒土線、羽根線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 平成28年10月の大分県北部圏再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。	
豊後高田市地域公共交通会議		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	A	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、安定した利用があり、現状維持を目標として、今後も効果的な運行に努める。		
豊後高田市地域公共交通会議		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、今後も利用促進に努める。また、目標値設定については再度検討する必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		草地線 長添～スーパーあさの～商工会議所		A	B	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、今後も利用促進に努める。また、目標値設定については再度検討する必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		黒土線 小河内～スパランド真玉～スーパーまたま		A	A	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、安定した利用があり、現状維持を目標として、今後も効果的な運行に努める。		
豊後高田市地域公共交通会議		臼野線 山畑～大平公民館～スーパーまたま		A	B	利用者数は少ないが前年に比べ増加している。市中心部へ移動する路線バスに乗り継ぎ便として必要な路線であるため、今後も利用促進に努める。また、目標値設定については再度検討する必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		夷線 夷谷温泉～西夷公民館～10-1構造改善センター		A	B	利用者数は少ないが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉利用に必要な路線であるため、今後も利用促進に努める。また、目標値設定については再度検討する必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局～サンクリニック		A	B	利用者数は少ないが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉利用に必要な路線であるため、今後も利用促進に努めたい。また、目標値設定についても再度検討していきたい。		
豊後高田市地域公共交通会議	羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館～サンクリニック	A	A	人口減少により利用者数は減少傾向にあるが、安定した利用があり、現状維持を目標として、今後も効果的な運行に努める。				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド型) 呉崎11・12～呉崎地域～商工会議所	・利用者への聞き取りと要望調査を実施。 ・路線バス、市民乗合タクシー路線図を作成し、市内全戸に配布。 ・公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やパターミナル等にて配布。 ・市の広報媒体を活用して、公共交通の情報発信を実施。	A	B	利用者が年々減少しているため、利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、路線のあり方を再度検討する必要がある。		
豊後高田市地域公共交通会議		西真玉線(デマンド型) 湯原上～西真玉地域～スーパーまたま	・公共交通の乗り継ぎをスムーズに行えるように“マイ時刻表”を作成し配布。	A	B	利用者が年々減少しているため、利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、路線のあり方を再度検討する必要がある。		
由布市地域公共交通活性化協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース、スクールバス阿蘇野コース、スクールバス大津留コース、シャトル(大学病院⇄庄内庁舎)	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。 シャトルについては、引き続き毎週水曜日の水中運動利用者へ無料乗車券の交付を行うことで利用促進を行った。	A	C	定期利用が見込めないスクールバスの系統については、見直しを行い、定量の利用が見込める系統については、策定中の再編実施計画を通じて、利用者のニーズ把握に努め、利便性向上の取組を進める。	評価の指標は、年間輸送人員、JRへの乗り継ぎ時刻及び各地域ごとの路線図を記載した時刻表を作成し、市内全戸配布し、運転免許証自主返納者に対してコミュニティバスの無料乗車券を交付するなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 今後、策定予定の地域公共交通網再編実施計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線(玉来・竹田営業所)	利用者数のデータ分析及び利用者の要望について、平成29年3月に策定した、公共交通網形成計画時に利用者アンケートを実施し、分析及び実施事業については繁栄している。また、平成29年度計画推進事業においても時刻表の作成による市民周知、乗降調査による事業分析についても実施事業に繁栄している。	A	B	高伏・上町線は、観光地である長湯温泉へ移送する路線であるため、地元観光協会関係機関と連携し、利用促進に努める。 また、2018年12月、阿蘇市と竹田市、JR九州において豊肥線を活用して観光振興に取り組む協定を締結した。この三者連携協議会において、地域交通を利用した地域活性化に取り組むなど観光振興の観点からも今後取り組む予定である。	評価の指標は、年間輸送人員、網形成計画に定めている高齢者等を対象に公共交通を利用した乗車体験会を開催し利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 阿蘇市、竹田市、JR九州における広域な地域交通を利用した地域活性化に取り組まれるとともに今後も平成29年3月に策定した地域公共交通網形成計画に基づき持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江団地線 亀川駅～亀川新川～関の江車庫前	運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討した。	A	A	更なる利用者の増加に向けた、運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減について検討し改善を進める。	評価の指標は、年間輸送人員数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況		
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－上九瀬線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	須木区域唯一の路線であり、通学で利用している利用者がいるため、維持・存続が不可欠である。区域住民と連携して新規利用者の開拓を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。	評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(小林～上九瀬線、小林～岡原循環線、小林～南ヶ丘線、小林～環野一千歳線、小林～運動公園循環線、小林～深草循環線、小林～大出水循環線、小林～三松循環線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標を達成できなかった系統の周知、利用者ニーズの把握を行うとともに引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－鷗野循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－岡原循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－種畜牧場循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－南ヶ丘線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－環野一千歳線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－運動公園循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－深草循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－大出水循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－三松循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通㈱	小林－上原循環線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	C	運行経路の見直しや停留所の増設等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース (イオンタウン日向・櫛の山)	<p>・出前講座や高齢者クラブ、後期高齢者説明会(75歳対象)等に出向き、住民への周知活動を行った。</p> <p>・小学生の校外学習に市民バスを利用してもらい、市民バスに対する意識の醸成をはかるとともに、利用者増に努めた。</p> <p>・時刻表を冊子にして、文字を大きくレイアウトを变えるなどして、利用者が使いやすいものに見直した。</p>	A	B	<p>引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者に対し運転免許証の自主返納制度を周知し、公共交通の利用増へつなげる。</p> <p>今後も利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。</p>	<p>評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。出前講座、高齢者クラブ、後期高齢者説明会等において住民に説明し、時刻表を冊子にして文字を大きくレイアウトを变えるなど利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(西2コース、北1コース、寺迫庭田線、鷺毛榎木線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。平成29年10月の日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画に基づく再編により、さらなる持続可能な交通ネットワークが維持されることに期待します。</p>	
日向市地域公共交通会議	日向市	東2コース1(イオンタウン日向・水ヶ公園・幡浦) 東2コース2(イオンタウン日向・幡浦)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	西1コース (比良町・小原)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	西2コース (本谷・新財市)		A	A			
日向市地域公共交通会議	日向市	南1コース1 (比良町・向洋台) 南1コース2 (比良町・向洋台・山の田)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	南2コース (長江団地入口・往還)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	北1コース (花ヶ丘・日向台・亀崎)		A	A			
日向市地域公共交通会議	日向市	北2コース (大王谷・梶木)		A	B			
日向市地域公共交通会議	日向市	美々津日向市駅線 コース1 美々津日向市駅線 コース2 美々津日向市駅線 コース3		A	A			<p>運行開始から2年半が経過し利用者も定着してきたところであるが、引き続き利用啓発に努める。</p>
日向市地域公共交通会議	日向市	田野羽坂線	A	B	<p>引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者に対し運転免許証の自主返納制度を周知し、公共交通の利用増へつなげる。</p> <p>H30年10月1日から増便し、運行の見直しを行ったため、今後は沿線住民への情報提供や利用啓発に努める。</p>			
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷越表線	A	B				
日向市地域公共交通会議	日向市	福瀬小野田線	A	B				
日向市地域公共交通会議	日向市	仲深坪谷線	A	B				
日向市地域公共交通会議	日向市	鶴野内迫野内八重原線	A	B				
日向市地域公共交通会議	日向市	寺迫庭田線	A	A	<p>引き続き、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。また、高齢者に対し運転免許証の自主返納制度を周知し、公共交通の利用増へつなげる。</p> <p>H30年10月1日から増便し、運行の見直しを行ったため、今後は沿線住民への情報提供や利用啓発に努める。</p>			
日向市地域公共交通会議	日向市	飯谷田の原線	A	B				
日向市地域公共交通会議	日向市	鷺毛榎木線	A	A				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに、コミュニティバス・乗合タクシー・まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・存続を図った。また、地域住民との意見交換やヒアリングを行い、路線の見直しを実施したほか、HPや広報での情報発信、時刻表や路線図、利用促進チラシの配布、乗り方教室の開催、イベントでのPR活動を行うなど、市民への周知啓発に努めた。	A	C	コミュニティバス及び乗合タクシーは、路線バスが運行していない交通空白地域を運行しており、地域住民にとって必要不可欠な路線であるため、事業者、市、地域住民が連携して利用促進を図る必要がある。また、地域公共交通網形成計画策定における事業者ヒアリング等により見えてきた課題を整理し、市民ニーズの把握に努め、路線の見直し等を行うことにより、乗車率の改善を図っていく。	評価の指標は、系統別の乗車率。地域住民との意見交換、ヒアリングを基に路線の見直しを実施し、乗り方教室を開催するなど利便性向上、利用促進に取り組まれていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものの(③二股線、⑥大久保下線、⑨上中尾線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。今後も、地域公共交通網形成計画の策定に向けた取組が計画的に進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		②鹿川線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		③二股線			A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		④猿渡線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑤三ヶ村線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑥大保下線			A			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑦下崎・笠下黒原線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑧片内・菅原線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑨上中尾線			A			
延岡市地域公共交通活性化協議会	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑩下塚線	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに、コミュニティバス・乗合タクシー・まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・存続を図った。また、地域住民との意見交換やヒアリングを行い、路線の見直しを実施したほか、HPや広報での情報発信、時刻表や路線図、利用促進チラシの配布、乗り方教室の開催、イベントでのPR活動を行うなど、市民への周知啓発に努めた。	A	C	コミュニティバス及び乗合タクシーは、路線バスが運行していない交通空白地域を運行しており、地域住民にとって必要不可欠な路線であるため、事業者、市、地域住民が連携して利用促進を図る必要がある。また、地域公共交通網形成計画策定における事業者ヒアリング等により見えてきた課題を整理し、市民ニーズの把握に努め、路線の見直し等を行うことにより、乗車率の改善を図っていく。		
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑪市尾内線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑫三川内線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑬上三輪・貝の畑～岡富線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑭安井・神戸～レーヨン線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑮須佐～大武線			B			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑯小川～平田線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑰上赤線	協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに、コミュニティバス・乗合タクシー・まちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・存続を図った。また、地域住民との意見交換やヒアリングを行い、路線の見直しを実施したほか、HPや広報での情報発信、時刻表や路線図、利用促進チラシの配布、乗り方教室の開催、イベントでのPR活動を行うなど、市民への周知啓発に努めた。	A	C	コミュニティバス及び乗合タクシーは、路線バスが運行していない交通空白地域を運行しており、地域住民にとって必要不可欠な路線であるため、事業者、市、地域住民が連携して利用促進を図る必要がある。また、地域公共交通網形成計画策定における事業者ヒアリング等により見えてきた課題を整理し、市民ニーズの把握に努め、路線の見直し等を行うことにより、乗車率の改善を図り、加えて、交通の結節点として期待される道の駅を活用した施策の検討を行う。		
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑱下塚線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑲瀬口線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会		⑳家田線			C			
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株) ○1系統	㉑まちなか循環バス	小学生の期間限定運賃無料化や、賞品が当たるキャンペーンの実施、イベント時における臨時運行等、事業者や協議会等と連携し、各種利用促進事業に取り組んだ。	A	B	まちなか循環バスは、引き続き協議会や事業者等と連携して利用促進を図るとともに、駅前複合施設エンクロスの利用者や観光客等の新たな利用者の確保につながる取組の検討を行い、更なる乗車率の向上を図っていく。		



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 平野・石尾線	西都ショッピングセンター～石尾の運行(専門学校経由あり)	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。	A	B	より利用しやすい路線やダイヤへの変更を検討する。 分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。	<p>評価の指標は、系統ごとの1日あたりの利用者数。 利用者の要望を受け路線とダイヤを一部見直すなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(山田・上沖線、岩爪線、長園線、長園通学線、岩井谷・並木線、竹尾・平原線、加勢・小豆野線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標を達成できなかった系統の周知、利用者ニーズの把握を行うとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p>	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長谷線	西都ショッピングセンター～上長谷の運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。	A	C	より利用しやすい路線やダイヤへの変更を検討する。 分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 山田・上沖線	西都ショッピングセンター～中山の運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。 また、利用者の要望を受け路線とダイヤを一部見直した。	A	A	より利用しやすい路線やダイヤへの変更を検討する。 分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 岩爪線	西都ショッピングセンター～岩爪の運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。 また、利用者の要望を受けダイヤを一部見直した。	A	A	より利用しやすい路線やダイヤへの変更を検討する。 分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長園線	西都ショッピングセンター～長園の運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。 また、利用者の要望を受けダイヤを一部見直した。	A	A	より利用しやすい路線やダイヤへの変更を検討する。 分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 長園通学線	西都ショッピングセンター～長園の運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。	A	A	児童の利用に左右される路線であるが、一般利用者への情報提供を充実させ、利用促進を図る。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 岩井谷・並木線	並木～西都ショッピングセンターの運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。 また、利用者の要望を受け路線とダイヤを一部見直した。	A	A	より利用しやすい路線やダイヤへの変更を検討する。 分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる。		
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社 穂北線	西都ショッピングセンター～尾吐の運行	分かりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させた。	A	C	高齢者の利用者減が続いているが、継続的なルート見直しや地道な利用促進活動を継続する。		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー株式会社 春日・大口川線	春日公民館～西都バスセンターの運行	地域の要望を受け、路線を新設した。	A	C	要望を受け新設した路線であるが、利用が低調であるため情報提供を充実させ利用促進を図るとともに、路線やダイヤ見直しも検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー株式会社 竹尾・平原線	平原公民館～西都 バスセンターの運 行	地域の要望を受け、路線を 新設した。	A	A	新設路線であるが、一定の 定着が見られるため、引き続 き情報提供を充実させ利用 促進を図る。		
西都市地域公共交通会議	宮崎タクシー株式 会社 加勢・小豆野線	小豆野～西都バス センターの運行	分かりやすいチラシを作成 し、利用者への情報提供を 充実させた。 また、利用者の要望を受け 路線とダイヤを一部見直し した。	A	A	分かりやすいチラシを作成 し、利用者への情報提供を 充実させる。		
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タク シー	○運行区間: 都城市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日: 火・金曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デ マンド運行	利用ガイドを作成し、高齢者 からの相談が多い、民生委 員及び地域包括支援セン ターに配布・説明し、利用促 進を図った。	A	B	周知が進む中で利用者が減 少しているため、既存利用者 のニーズ把握に加えて、新 規利用者を増やすために、 利用していない高齢者に対 しての調査を実施する。	評価の指標は、系統ごとの1日 あたりの利用者数。	
都城市地域公共交通会議	有限会社 銀星タク シー	○運行区間: 都城市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デ マンド運行	各地区で実施される敬老会 へ出向き、新たに作成した利 用ガイドを配布の上で説明を 実施した。	A	B	周知が進む中で利用者が減 少しているため、既存利用者 のニーズ把握に加えて、新 規利用者を増やすために、 利用していない高齢者に対 しての調査を実施する。	乗り方の分からない住民に対 して、新たな利用ガイドを作成し、 民生委員及び地域包括センター と連携して配布、説明するとともに 各地区の敬老会においても 利用ガイドの配布、説明を行うなど 利用促進に取り組まれていること を評価します。	
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 東西町平田乙房 線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回※路 線定期	今回が初めての評価となる が、地域のまちづくり協議会 が運行経路を設定して、自ら 運行していることもあり、地 域一体となって周知・利用促 進に取り組んだ。	A	A	既存利用者の利用頻度は安 定しているため、利用してい ない高齢者への周知及び ニーズ調査を実施する。	自己評価については、目標未達 だったものを詳細に分析するこ とに加え、目標達成したもの(東西 町平田乙房線)についても成功 例として同様に分析されることに 期待します。 引き続き地域公共交通会議が設 定する今後の改善点が着実に推 進されることにより持続可能な交 通ネットワークが構築されること を期待します。	
都城市地域公共交通会議	都城市	○運行区間: 都城市庄内地区 関之尾川崎菓子 野線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※ 路線定期	今回が初めての評価となる が、地域のまちづくり協議会 が運行経路を設定して、自ら 運行していることもあり、地 域一体となって周知・利用促 進に取り組んだ。	A	B	温泉施設や買物での利用に 特化したパンフレットを作成 し、新たな利用者を確保す る。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式 会社	竹鳩線 (竹鳩公民館～め いりんの湯)	公共交通マップ、公共交通 PRパンフレットの配布やバス の乗り方教室を継続して実 施した。	A	B	利用者が固定化されている ため、新規利用者の増加を めざし、公共交通マップや広 報等を利用して周知の強化 を図る。また、ルート、ダイヤ の見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出 前講座を行うほか、公共交 通マップの見直し、公共交 通PRパンフレットの配布するな ど公共交通の利用促進を図 る。	評価の指標は、系統ごとの年間 利用者数。 公共交通マップ、公共交通PRパ ンフレットの配布、バスの乗り方 教室の開催など利用促進に取り 組まれていることを評価します。 目標設定は人口減少、情報化社 会、高齢化社会における福祉の 動きなど時代変化があることを 踏まえながら地域の状況に応じ た評価項目の設定、幅のある設 定を検討ください。	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式 会社	老瀬線 (老瀬公民館～め いりんの湯)	公共交通マップ、公共交通 PRパンフレットの配布やバス の乗り方教室を継続して実 施した。	A	B	利用者が固定化されている ため、新規利用者の増加を めざし、公共交通マップや広 報等を利用して周知の強化 を図る。また、ルート、ダイヤ の見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出 前講座を行うほか、公共交 通マップの見直し、公共交 通PRパンフレットの配布するな ど公共交通の利用促進を図 る。	引き続き協議会が設定する今後 の改善点が着実に推進されるこ とにより持続可能な交通ネッ トワークが構築されることを期待し ます。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	蚊口浜線 (蚊口浜キャンプ場入口～めいりんの湯)	公共交通マップ、公共交通PRパンフレットの配布やバスの乗り方教室を継続して実施した。	A	B	利用者が固定化されているため、新規利用者の増加をめざし、公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、ルート、ダイヤの見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出前講座を行うほか、公共交通マップの見直し、公共交通PRパンフレットの配布するなど公共交通の利用促進を図る。		
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	堀の内団地線 (しろはと工房～めいりんの湯)	公共交通マップ、公共交通PRパンフレットの配布やバスの乗り方教室を継続して実施した。	A	B	利用者が固定化されているため、新規利用者の増加をめざし、公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、ルート、ダイヤの見直しを検討する。 また、バスの乗り方教室や出前講座を行うほか、公共交通マップの見直し、公共交通PRパンフレットの配布するなど公共交通の利用促進を図る。		
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	定期路線運行:尾鈴通浜線 (運行時間7:30～8:30) H2 9. 10～H30. 9	利用者要望に応じて、山口整形外科を乗降場に追加し、回数券を発行し利用促進を図った。	A	B	今後も利用者の利用状況や意見を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。	評価の指標は、系統ごとの月平均利用者数。利用者の要望に応じて、乗降場を追加するなど利便性向上に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(オンデマンド運行:町内全域)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
川南町地域公共交通会議		オンデマンド運行:町内全域 (運行時間8:40～18:00) H2 9. 10～H30. 9	92か所だった乗降場を8か所増設し、利用しやすい環境づくりを行った。また、回数券を発行することで利用促進を図った。運行時間を見直し利用向上を図った。	A	A	今後も利用者の利用状況や意見を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。		
高原町地域公共交通会議	事業者名: 宮交タクシー株式会社	定期路線運行:小久保線 [月・木] 8:35から13:10まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。	A	C	今後も利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にを行い、必要に応じた、ルート、ダイヤ等の見直し、検討を行う。 今年度は、公共交通に対する町民への周知、関心を持ってもらうため、町広報へ各路線の1年間の利用者数や経費、乗車方法等を掲載した。 今後も引き続き、町民並びに沿線住民への広報、周知徹底等利用促進への取組を行っていく。 しかしながら、利用者数が伸びない路線については、廃線も含め、運行形態について、沿線区と協議を行う。	評価の指標は、系統ごとの年間利用者数。沿線地区住民に対して、説明を行うなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(後川内線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標を大きく下回った系統の周知、利用者ニーズの把握を行うとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
高原町地域公共交通会議		定期路線運行:後川内線 [火・金・土] 8:15から15:25まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。	A	A			
高原町地域公共交通会議		定期路線運行:湯之元蒲牟田線 [火・土] 8:28から13:06まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。 沿線地区住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	B			
高原町地域公共交通会議		定期路線運行:常盤台線 [月・木] 8:29から12:55まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。 沿線地区住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会日向支部	①牧山線	前回の事業評価結果では、乗り方教室及び回数券制度導入等による利用促進、事業の認知度の指標化が挙がっていた。町内イベントとあわせて乗り方教室を実施したほか、タクシー回数乗車券(100円券、200円券)の販売、運転免許証を自主返納した高齢者への無料乗車券(20分)の配布を実施している。なお、事業認知度の指標化については、町内の一部地域において実施をした。	A	C	利用者数目標値又は収支率目標値とのかい離が大きい路線については、今後、目標の変更を検討する。一方、目標値とのかい離が小さい路線については、乗り方教室、回数券及び無料乗車券のPR等利用促進に向けた取り組みを実施する。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの利用者数及び収支率。町内イベントとあわせて乗り方教室の開催、運転免許証自主返納者への無料乗車券配布など利用促進に取り組みされていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(中山・五十鈴線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。目標を大きく下回った系統の周知、利用者ニーズの把握を行うとともに目標を達成できなかった系統の周知、要因を分析するとともに引き続き地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
門川町地域公共交通会議		②大迫・庵川線		A	C			
門川町地域公共交通会議		③竹名・中村線		A	C			
門川町地域公共交通会議		④中山・五十鈴線		A	A			
門川町地域公共交通会議		⑤大池・中山線		A	B			
門川町地域公共交通会議		⑥本町巡回線		A	C			
門川町地域公共交通会議		⑦三ヶ瀬線(町部行きコース)		A	C			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	祁答院～川内駅 (市内横断シャトルバス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあったため、ダイヤ変更について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図った。	A	B	昨年度より利用者数が減となり、目標人数には達しなかった。いむた清風～川内駅については、周辺施設の閉館もあり利用人数の減少幅が大きかったと考えられる。今後、さらに利用啓発・利用促進に努めるとともに、沿線の人口減少率も加味した適切な量的目標の設定に努める。		
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	いむた清風～川内駅 (市内横断シャトルバス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあったため、ダイヤ変更について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図った。	A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (西回り) (北部循環バス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあったため、バス停新設について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図った。	A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (東回り) (北部循環バス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあったため、バス停新設について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図った。	A	B	城上・吉川循環線は昨年度の利用人数を維持・上回ったが、湯田・西方循環線とともに、目標にはとどかなかった。湯田・西方循環線については、新規バス停を設置したが、大幅な利用人数の増加はなかった。今後の利用人数の増加に向け、引き続き利用啓発・利用促進に努めていく。また、沿線の人口減少率を加味し、適切な量的目標の設定に努める。	評価の指標は、路線別の1便あたりの利用者数。出前講座やバス教室の開催など利用促進に取り組みされていることを評価します。目標設定は人口減などの外的要因を加味した目標値の検討にあわせて情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (西回り) (北部循環バス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあったため、バス停新設について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図った。	A	B			
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (東回り) (北部循環バス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあったため、バス停新設について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図った。	A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあつたため、ダイヤ変更について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図つた。	A	B	県道回りについては、昨年度の利用人数を維持したが、国道回りともに目標には届かなかつた。今後も他の交通機関との接続を考慮するとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。また、適切な量的目標の設定に努める。	
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)	利用者ニーズの指標化については反映できなかった。昨年度の検討会等でコミュニティバスについての認識の低さがあつたため、ダイヤ変更について交通だよりや市HPへの掲載等を行い周知を図つた。	A	B		
霧島市地域公共交通会議	南国交通株式会社	溝辺地区におけるコミュニティバスの運行 (1)竹子・三縄・横川線	①公共交通啓発チラシの配布を行い、利用促進対策を講じた。 ②地域の方の要望に応じ、私の時刻表(依頼のあつた方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)を作成し、提供した。 ③地域の方の要望に応じ、運行ルートの一部変更や、路線延長を行った。 ④広報誌により、霧島市内のふれあいバスの概要や、利用方法等についてPRを行った。	A	A	<p>評価の指標は、1便あたりの乗車人数、年間利用者数。達成状況を各系統ごとに具体的に分析し、路線のあり方も含めた検討を行っていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものの(竹子・三縄・横川線、福沢線(スクール対応)登校便、有川線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることにより持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。</p> <p>■平成27年度に策定した霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>■地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 ③地域の方の要望に応じ、「私の時刻表(依頼のあつた方の自宅から、普段よく行く場所までのバス時刻表)」を随時作成し、提供する。 ④地域の方の要望に応じ、随時、運行ルートの変更等を行う。 ⑤公共交通の利用促進に係るイベント等を実施する。(ノーマイカーウィークなど)</p>	
霧島市地域公共交通会議		(2)麓線		A	C		
霧島市地域公共交通会議		(3)空港崎森線		A	C		
霧島市地域公共交通会議	鹿児島交通株式会社	牧園地区におけるコミュニティバスの運行(1)霧島牧園線		A	C		
霧島市地域公共交通会議	H29.10.1～H30.3.29 三州自動車株式会社	福山地区におけるコミュニティバスの運行 (1)福沢線		A	C		
霧島市地域公共交通会議		(2)福地・池之谷線		A	C		
霧島市地域公共交通会議	H30.3.30～H30.9.30 鹿児島交通株式会社	(3)比曾木野線		A	C		
霧島市地域公共交通会議		(4)福地線(スクール対応)		A	C		
霧島市地域公共交通会議		(5)福沢線(スクール対応)登校便		A	A		
霧島市地域公共交通会議		(6)福沢線(スクール対応)下校便		A	C		
霧島市地域公共交通会議	AT交通株式会社	霧島地区永水・向田地域におけるデマンド交通の運行 (1)永水・向田線		A	C		
霧島市地域公共交通会議	有限会社中村タクシー	溝辺地区有川地域、福山地区佳例川地域・福山地域におけるデマンド交通の運行 (1)有川線	広報誌により、霧島市内のデマンド交通の概要や、利用方法等についてPRを行った。	A	A		
霧島市地域公共交通会議		(2)佳例川線		A	C		
霧島市地域公共交通会議		(3)福山線		A	C		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿児島市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	谷山地域 あいばすの運行	・運行時間別やバス停ごとの利用者数及び目的地等の聞き取り調査の実施を計画している。 ・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。	A	B	・地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのため、高齢者以外の利用も可能なことなど、分かりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。	評価の指標は、路線別の1日あたりの利用者数。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 利用者のニーズにかかる検討も行われており、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
鹿児島市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	喜入地域 あいばすの運行	・平成30年10月から、一部の運行区域において、あいばすに代えて乗合タクシーを導入する運行計画の見直しを実施することとした。 ・運行時間別やバス停ごとの利用者数及び目的地等の聞き取り調査の実施を計画している。 ・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。	A	B	・運行計画の見直しにより変更した運行ダイヤの周知に努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのため、分かりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。		
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 平山線	浜田入口～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	B	目標人数には達していないが、前年度に比べ利用者は増加している。今後も引き続き、利用促進に向けた取り組みを行う。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 荃永線	Aコープ前～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	B	新規の利用者を確保するため、バスの利用方法など、さらに周知を図り、町民がより気軽に利用しやすいよう、取り組みを行う。	目標値には達していないものの、2路線は前年度より利用者が増加している。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 西之線	役場～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	B	新規の利用者を確保するため、バスの利用方法など、さらに周知を図り、町民がより気軽に利用しやすいよう、取り組みを行う。	利用者のニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化することにより具体的な評価を期待します。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 島間線	牛野～河内温泉の運行	地域支え合い推進員へ無料券申請受付の協力を依頼。また、河内温泉や公立病院など公共施設での情報提供を行った。	A	B	目標人数には達していないが、前年度に比べ利用者は増加している。今後も引き続き、利用促進に向けた取り組みを行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	額娃～霜出～川辺の運行	市内高校等で周知広報を実施。利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの平均乗車人数。 路線によっては大幅に利用者減となっている。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(番所鼻公園～霜出～知覧、山添～平山六丁～文化会館、蓮子～水成川～額娃図書館、加治左～小原～額娃図書館、種子尾～一氏～額娃図書館、長崎～前原～額娃図書館、熊ヶ谷～梶山～額娃図書館)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 今後予約型乗合タクシーの導入も検討するとしており、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	青戸小南～霜出～川辺の運行	市内高校等で周知広報を実施。利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	番所鼻公園～霜出～知覧の運行	市内高校等で周知広報を実施。利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会、市内高校等で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	瀬戸山～下里～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	屋敷平～本別府大久保～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	田の頭～勝目西～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	君野西～大山入口 ～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	打木谷～上之口～ 文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	市街地周回線 文化会館～病院前 ～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	栢川三叉路～市役 所～保健センター の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	加治佐～保健セン ター～知覧の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	市崎野～横手町～ 文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	効率的な運行を実現するため、予約型乗合タクシーの導入を検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	滝の前～野崎公民 館～文化会館の運 行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	山添～平山六丁～ 文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	西の原～高田下～ 文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	火之河原～中服良 ～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	松尾城橋～野間里 ～文化会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	荒田～越原～文化 会館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	川原～宮～文化会 館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商 会 生活交通バス	木床～上郡上～保 健センターの運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	寺園～河上～保健 センターの運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	小金園～打越～保 健センターの運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	峯苔～平久保～知 覧の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	二ツ谷～堤之原～ 知覧の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	効率的な運行を実現するた め、予約型乗合タクシーの導 入を検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	高星～林川～知覧 の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	高吉～中福良～知 覧の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	大隣南～松久保～ 霜上げんき館の運 行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	竹迫北～立山～霜 上げんき館の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会 生活交通バス	中渡瀬～上木原～ 松山の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	浦芝原～麓南～額 娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	佃～奥園～額娃図 書館の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	矢越～御領山下～ 額娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	蓮子～水成川～額 娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するた め、引き続き地域自治会、老 人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	青戸農村公園～福 留～額娃図書館の 運行	利用者・乗務員へのアン ケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮 し、減便等運行計画の見直 しを検討する。		



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	加治佐～小原～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	曲谷～赤崎～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	種子尾～一氏～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	永谷～粟ヶ窪～アグリ温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	加治佐～耳原～別府温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	青戸農村公園～石垣～別府温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	長崎～前原～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	永谷～春向～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	下出～木之元～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	熊ヶ谷～栢山～頼娃図書館の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	上淵～雪丸～アグリ温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	曲谷～新牧～アグリ温泉の運行	利用者・乗務員へのアンケート調査の実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北西ルート(市成出張所～歌丸～輝北総合支所) 車両減価償却費等 国庫補助金による 小型低床車両の導入	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A		<p>評価の指標は、系統ごとの1便あたりの利用者数。 利用者の要望や利用実態を考慮したための細かいルート見直しを行うと共に、目標を達成出来なかった系統についての具体的な分析を行っていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものの(輝北西ルート、輝北中央ルート、輝北堂平ルート、串良市街・堅田ルート)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 利用者のニーズにかかる検討も行われていることから、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。</p>	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北東ルート(有村三文字～中平房～輝北総合支所) 車両減価償却費等 国庫補助金による 小型低床車両の導入	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	B	利用者が固定客となってきたため、広報や利用促進に努め、新規利用者の開拓を図っていく。 小型低床車両の導入を行ったことで、ニーズに応じたきめ細かなルート設定の見直しなどの検討を行っていく。 また、同地区は福祉部門においてボランティアによる登録、許可を要しない運送の立ち上げを検討していることから、連携を図っていく。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北中央ルート(輝北総合福祉センター～百引～輝北総合福祉センター) 車両減価償却費等 国庫補助金による 小型低床車両の導入	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	輝北堂平ルート(荒平橋～百引～輝北総合福祉センター) 車両減価償却費等 国庫補助金による 小型低床車両の導入	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	吾平東ルート(吾平振興会館～湯遊ランドあいら～永野牧～吾平振興会館) 車両減価償却費等 国庫補助金による 小型低床車両の導入	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、乗降調査を行い、利用者ニーズの把握に努めた。	A	B	運行ルートが利用者のニーズに合っていないことや、温泉施設の一時休業、食品等の移動販売車の運行などが、利用者減の要因と思われる。 乗降調査や聞き取り調査を行い平成30年10月より全体的な運行見直しを行った。 今後、利用者の動向を見極めるとともに、更なる利用促進にも努めていく。利用者の回復が見込まれない場合は、運行形態の見直しも検討していく。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	吾平西ルート(吾平振興会館～湯遊ランドあいら～坂元～吾平振興会館) 車両減価償却費等 国庫補助金による 小型低床車両の導入	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、乗降調査や高齢者サロンでの聞き取りを行い、地域住民ニーズの把握に努めた。	A	B			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	市街地巡回バス(鹿屋～西原寿中央～鹿屋)	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。また、要望等を基に総合病院の玄関への乗り入れを行い、利便性向上に努めた。	A	B	広報や利用促進に努め、利用者増を図っていく。また、利用ニーズに応じた見直し等を引き続き行っていく。 運行要望の多い区域の新規ルートの検討を行う。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良馬掛ルート(馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)	地域の要望を基に、ルートの一部延伸を行った。 また、市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。	A	B			
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良新堀ルート(新堀公民館～永和～串良さくら温泉)	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	B	利用者が固定客となってきたため、広報や利用促進に努め、新規利用者の開拓を図っていく。 地域住民との意見交換や聞き取り調査等を行い、ニーズに応じた見直しを引き続き行っていく。		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通㈱	串良市街地・堅田ルート(串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉)	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。 また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通株	串良市街地ルート(串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)	市の広報誌により、くるりんバスの特集記事を掲載し、利用促進に努めた。また、利用者の声や要望等の把握に努めた。	A	B			
垂水市地域公共交通活性化協議会	協和タクシー	事前予約型乗合タクシー運行(市木地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。また、住民にとって利用しやすい、利便性の高い乗合タクシーの運行を検討するため、アンケート調査を実施した。	A	A	市木地区での運行区域の人口に見合った利用実績を得ているが、今後も利用者数の利用推進を図り、満足度向上に努める。		
垂水市地域公共交通活性化協議会	有限会社オダ	事前予約型乗合タクシー運行(大野地区～中央地区)	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。また、住民にとって利用しやすい、利便性の高い乗合タクシーの運行を検討するため、アンケート調査を実施した。	A	B	大野地区での運行区域の人口に見合った利用実績を得ているが、今後も利用者数の利用推進を図り、満足度向上に努める。	評価の指標は、路線別の年間輸送人員数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(市木地区～中央地区、内ノ野ルート、小谷ルート)についても成功例として同様に分析されることに期待します。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通株式会社	事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) ※内ノ野ルート	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。また、住民にとって利用しやすい、利便性の高い乗合タクシーの運行を検討するため、アンケート調査を実施した。	A	A	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。	地域公共交通会議が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
垂水市地域公共交通活性化協議会		事前予約型乗合タクシー運行(水之上地区～中央地区) ※小谷ルート	利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、停留所看板のリニューアル等を行った。また、住民にとって利用しやすい、利便性の高い乗合タクシーの運行を検討するため、アンケート調査を実施した。	A	A	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(空港線)	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、航空便のダイヤに接続した運行時刻への変更を実施。	A	C	航空便のダイヤに接続した運行時刻への変更を実施したが、新た就航した沖縄便への接続について検討する。	評価の指標は、路線別の平均乗車密度。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(永嶺線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。今後利用者増加対策やモビリティマネジメントを検討しており、協議会が設定する改善点が着実に推進されることを期待します。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(知名・国頭線)	知名～国頭間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、総合病院への路線バス乗り入れのH31年度開始を決定。	A	B	新たに就航した沖縄便への空港線への対応のため、知名国頭線の空港線への統合について検討する。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(永嶺線)	知名～永嶺～和泊間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、総合病院への路線バス乗り入れのH31年度開始を決定。	A	A	2020年度に計画されている乗継拠点の整備に合わせて、路線の統廃合について検討する。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(後蘭線)	知名～後蘭～和泊間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、総合病院への路線バス乗り入れのH31年度開始を決定。	A	B	2020年度に計画されている乗継拠点の整備に合わせて、路線の統廃合について検討する。		
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(ガジマル線)	知名～下平川～和泊間の路線バスの運行	中学生以下の料金割引土日・祝日への拡大や、総合病院への路線バス乗り入れのH31年度開始を決定。	A	C	2020年度に計画されている乗継拠点の整備に合わせて、路線の統廃合について検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光川西	曾木バス停～川西地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光西山	針持バス停～西山地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光高塚	針持バス停～高塚地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。	<p>評価の指標は、路線別の乗合タクシー運行台数。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したものについても成功例として同様に分析されることに期待します。 認知度にかかる対策等を検討しており、協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。</p>	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光光田原	針持バス停～田原地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析し、運行エリアの見直しを検討する。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光荒田	菱刈中心地～荒田地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光永池楠原	菱刈中心地～永池楠原地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光野池小川添	菱刈中心地～野池小川添地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光光田中重留	菱刈中心地～田中重留地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、利用すべき対象者の発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光市山花北	菱刈中心地～市山花北地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南下小園タクシー湯之尾	菱刈中心地～湯之尾地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南下小園タクシー山田徳辺	菱刈中心地～山田徳辺地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南下小園タクシー五色徳辺下	菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、利用すべき対象者の発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南下小園タクシー下手	菱刈中心地～下手地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー	山野中心地～布計地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	B	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、利用すべき対象者の発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 小川内	山野中心地～小川内地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小園タクシー 平出水	山野中心地～平出水地区の運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)青木循環線	大口中心地～青木篠原地区循環運行	警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布と運転免許証返納者を中心に説明を行い、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に周知し、新たな利用者発掘に努める。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野酒店前～鶴田支所の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	鶴田線(乗合タクシー) 上場公民館前～鶴田支所の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 株の谷入り口～さつまクニック前の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。	評価の指標は、系統ごとの1便あたりの利用者数。運行事業者への聞き取りを行い改善点を把握し、運転免許証返納者に対し、無料乗車券を配布して新たな利用者の掘り起こしを行っていることを評価します。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(椋野・紫尾線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。また、今後きめ細かな運用の変更を予定しており、協議会が設定する改善点が着実に推進されることを期待します。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)神園サービス	椋野・紫尾線 市野～旧宮之城駅の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	A	地域サロン等での説明会や福祉担当部署との連携を図り、新たな運行体系の周知活動と利用促進を図る。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	さつますこやか線 金山コース(コミュニティバス) さつまクリニック前 ～さつまクリニック 前の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	平成31年9月で路線廃止。該当地域は、10月から乗合タクシーの運行を開始した。		
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	さつますこやか線 段・薬師コース(コミュニティバス) さつまクリニック前 ～さつまクリニック 前の運行	アンケート調査による利用者の運行ニーズ等の分析を行った。その結果に基づく地域公共交通網形成計画を策定し、平成31年10月から運行体系の見直しを行った。	A	B	平成31年9月で路線廃止。該当地域は、10月から乗合タクシーの運行を開始した。		
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(柳原線)	伊関～市内～西之表港	住民意見等に基づく利便性向上に向けた取り組みとして、バス停ベンチの整備や市のイベントが行われる日曜日(従来は運休)の特別運行などを行った。特に、減少傾向に転じた利用者の再獲得に向けて、全世帯に配布される市広報紙へ特集記事を掲載するなど、地域公共交通の周知・啓発を強化した。	A	B	利用者は導入開始時(H24年度)からH28年度にかけて毎年増加傾向にあったが、同年で一旦の落ち着きを見せ、H29及び30年度にかけてはゆるやかに減少が続いている。他方で、高齢化により自力での乗車が難しい利用者に対する個別的な対応等が増えている。費用対効果の面でも、運賃収入や国庫補助金減等の影響を受けて増加し続ける自治体負担の適正化に向けて、本市の地域公共交通体系のあるべき姿の再検討を行う。	評価の指標は、運行の態様ごとの年間利用者数及び満足度並びに1運行あたりの利用者数。自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(国上～市内～西之表港、西之表港～市役所・松島～西之表港)についても成功例として同様に分析されることに期待します。年間利用者数が減少傾向にあるものの、満足度は上昇している。協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(立山線)	立山～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	はやしタクシー(古田線)	中割～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(国上線)	国上～市内～西之表港		A	A			
西之表市地域公共交通活性化協議会	(株)市丸タクシー(住吉線)	住吉～市内～西之表港		A	B			
西之表市地域公共交通活性化協議会	種子島・屋久島交通(株)(市街地巡回バス)	西之表港～市役所・松島～西之表港		A	A			
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	多田・桑原城系統 丸内～市役所間の 区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。	A	A	今後も利用者への情報提供を充実させる。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	西目・遠見ヶ岡・倉津系統 落～市民病院間の 区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本北部系統 八郷～脇本地区 公民館間の区域内 運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本西部系統 深田～脇本地区 公民館間の区域内 運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本東部(瀬之浦)系統 大淵川～脇本地区 公民館間の区域内 運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	脇本東部(桐野)系統 桐野上～脇本地区 公民館間の区域内 運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載やチラシ配布を行った。利便性向上のために運行時刻の変更を行った。	A	C	利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体での情報提供の実施及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー	山下系統 尾崎～市役所間の 区域内運行	制度の周知を図るため、区長、民生委員対象の説明会の開催及び広報誌掲載を行った。	A	A	今後も利用者への情報提供を充実させる。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
阿久根市公共交通 確保維持改善協議 会	第一交通	田代系統 米次～市役所間の 区域内運行	制度の周知を図るため、区 長、民生委員対象の説明会 の開催及び広報誌掲載を 行った。	A	C	利用者ニーズを把握しなが ら市広報をはじめ、様々な広 報媒体での情報提供の実施 及び説明会を開催する。		
阿久根市公共交通 確保維持改善協議 会	第一交通	鶴川内 木佐木野～市役所 間の区域内運行	制度の周知を図るため、区 長、民生委員対象の説明会 の開催及び広報誌掲載を 行った。	A	C	利用者ニーズを把握しなが ら市広報をはじめ、様々な広 報媒体での情報提供の実施 及び説明会を開催する。		
いちき串木野市地 域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 川上線の運行	前年比96%以上。	A	B	利用者数が減少傾向にある のは人口減少等によるもの が大きい、利用者の満足 度や利用しやすさ等のさら なる実態の把握に努め、引 き続き路線のPRを行う。ま た、今後は、今年度策定中 の地域公共交通網形成計画 を生かした形での事業目標 を設定する。	評価の指標は、路線別の年間輸 送人員数。 目標設定は人口減少、情報化社 会、高齢化社会における福祉の 動きなど時代変化があることを 踏まえながら地域の状況に応じ た評価項目の設定、幅のある設 定を検討ください。 利用者の満足度や利用しやすさ 等のさらなる実態の把握を検討 していることからこの点も指標化 することにより具体的な評価を期 待します。	
いちき串木野市地 域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 大里線の運行	前年比98%以上。	A	B			
いちき串木野市地 域公共交通会議	鹿児島交通(株)	いきいきバス 冠岳線の運行	前年比99%以上。	A	B			
いちき串木野市地 域公共交通会議	鹿児島交通(株)	いきいきバス 芋ヶ野線(デマ ンド型)の運行 ※	前年比104%以上。	A	B			
肝付町地域公共交 通会議	株式会社 銀河タ クシー	辺塚～岸良～内之 浦市街地	-	A	B		評価の指標は、全体の年間利用 者数及び系統ごとの1便あたりの 平均利用者数。 系統別の平均利用者数目標に は達していないものの、全体の 利用者数は増加している。 目標設定は人口減少、情報化社 会、高齢化社会における福祉の 動きなど時代変化があることを 踏まえながら地域の状況に応じ た評価項目の設定、幅のある設 定を検討ください。 利用者ニーズにかかる検討も行 われることから、この点も指標化 することにより具体的な評価を期 待します。	
肝付町地域公共交 通会議	株式会社 銀河タ クシー	海蔵～内之浦市街 地	-	A	C	減少している利用者の増加 を目的として、広報紙・ポス ター等での事業の周知を行 う。また、公共交通空白地域 や空白時間を可能な限り解 消することを目的として、運 行エリアの拡大や運行方法 の改善を行い、地域内公共 交通体制の見直しに取り組 む。		
肝付町地域公共交 通会議	株式会社 銀河タ クシー	上北～内之浦市街 地	-	A	C			
肝付町地域公共交 通会議	株式会社 銀河タ クシー	津代～内之浦市街 地	-	A	C			
肝付町地域公共交 通会議	有限会社 鶴丸タ クシー 有限会社 立石タ クシー	岸良～高山	-	A	B			
日置市地域公共交 通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・地域ケア会議時での利用 方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心と した利用方法の説明会等によ る啓発を図り、更なる利用 増に努める。		
日置市地域公共交 通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	中川・郡線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・地域ケア会議時での利用 方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心と した利用方法の説明会等によ る啓発を図り、更なる利用 増に努める。		
日置市地域公共交 通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	竹之山・土橋線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・地域ケア会議時での利用 方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心と した利用方法の説明会等によ る啓発を図り、更なる利用 増に努める。		
日置市地域公共交 通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上・下方限線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・地域ケア会議時での利用 方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心と した利用方法の説明会等によ る啓発を図り、更なる利用 増に努める。		
日置市地域公共交 通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	恋之原線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯 配付 ・地域ケア会議時での利用 方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配 布と共に、高齢者等を中心と した利用方法の説明会等によ る啓発を図り、更なる利用 増に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	久木野々線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	評価の指標は、路線別の年間運行率。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(上神殿線、中川・郡線、上・下方限線、日添・田之尻線、和田線、扇尾線、住吉線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 目標を下回った系統については今後乗り方教室や出前講座や意見聴取を行うこととしており、着実に推進されることを期待します。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	日添・田之尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	和田線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	藤元・野首線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	坊野・田尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙・チラシ等の配布と共に、高齢者等を中心とした利用方法の説明会等による啓発を図り、更なる利用増に努める。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日新線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	C	今後も広報紙等による啓発を図り、更なる利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日置線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙等による啓発を図り、更なる利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	吉利線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	B	今後も広報紙等による啓発を図り、更なる利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	扇尾線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙等による啓発を図り、更なる利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーを目指す。		
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	住吉線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 ・地域ケア会議時での利用方法の周知 ・市広報誌での利用促進	A	A	今後も広報紙等による啓発を図り、更なる利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーを目指す。		



協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	坊津から加世田市街地の運行(中山線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	適正な目標達成に努めた。	評価の指標は、路線別の年間利用者数。 見直しによって利用者の掘り起こしを行った結果、大幅に利用者が増加した路線がある一方、地域懇談会を地区単位で開催し、各路線でも利用促進を図っていることを評価します。 自己評価については、目標未達だったものを詳細に分析することに加え、目標達成したもの(高橋線、大木場線、池辺線)についても成功例として同様に分析されることに期待します。 協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	池辺から加世田市街地の運行(高橋線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A			
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	大木場から加世田市街地の運行(大木場線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A			
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	池辺門前からゆうらくの運行(池辺線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A			
南さつま市地域公共交通協議会	(株)森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行(鉄山線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	適正な目標達成に努めた。		
南さつま市地域公共交通協議会	南海交通(株)	白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行(白川線)	広報活動等を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	C	適正な目標達成に努めた。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	上牧川～市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	上牧川～上宝来～市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	広報・啓発活動により地域住民へ十分に周知し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	浜津脇入口～増田～市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成した。 前年度比の総利用者数はわずかに増加した。	A	B	地域のニーズを適切に把握し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	今熊野～坂井～油久～市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	地域のニーズを適切に把握し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	長谷～原尾～岩岡～市街地～田上診療所の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数は増加した。	A	B	地域のニーズを適切に把握し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	油久・南界地域～公立種子島病院の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	病院の診療時間等を勘案するなど利用者ニーズへ適切に対応したダイヤの変更を検討する。	評価の指標は、路線ごとの年間輸送人員数。 目標設定は人口減少、情報化社会、高齢化社会における福祉の動きなど時代変化があることを踏まえながら地域の状況に応じた評価項目の設定、幅のある設定を検討ください。 利用者ニーズにかかる検討も行われることから、この点も指標化することにより具体的な評価を期待します。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	はやしタクシー	岩岡・南界地域～ 公立種子島病院の 運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	病院の診療時間等を勘案するなど利用者ニーズへ適切に対応したダイヤの変更を検討する。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	はやしタクシー	三浜地区(大牟礼・ 伊原・下田・阿保) ～市街地の運行	年間利用者目標を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	地域のニーズを適切に把握し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	秋佐野・向井町・戸 畑～市街地の運行	年間利用者目標を達成したが、前年度比の総利用者数は減少した。	A	B	地域のニーズを適切に把握し、利用者数の増を図る。		
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	女州・竹屋野～市 街地の運行	広報活動を行っているが、高齢化が進み利用者数があまり増加していない。	A	C	利用実績が伸び悩んでいる。対象地域の住民から意見聴衆を行い、路線廃止・代替案を検討していく。		